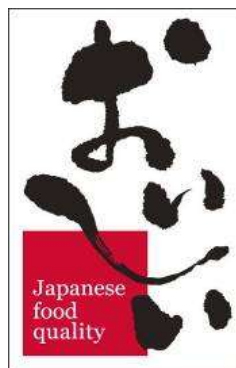


平成27年農林水産物・食品の輸出実績 (品目別)



平 成 2 8 年 4 月

農林水産省

食料産業局輸出促進課



品目別内訳	2		
加工食品の内訳	3	野菜・果実等の内訳	19
アルコール飲料	4	りんご	20
日本酒(清酒)	5	ながいも	21
醤油	6	ぶどう	22
みそ	7	桃	23
清涼飲料水	8	いちご	24
菓子(米菓を除く)	9	なし	25
米菓	10	うんしゅうみかん	26
		柿	27
畜産品の内訳	11		
牛肉	12	その他農産物の内訳	28
粉乳(育児用調製品ほか)	13	緑茶	29
鶏肉	14	植木等	30
豚肉	15	切花	31
牛乳	16		
		林産物の内訳	32
穀物等の内訳	17	丸太	33
米(援助用除く)	18	製材	34
		乾しいたけ	35
		水産物(水産調製品以外)の内訳	36
		ホタテ貝	37
		真珠(天然・養殖)	38
		さば	39
		ぶり	40
		かつお・まぐろ類	41
		さんご	42
		さけ・ます	43
		錦鯉等観賞用魚	44
		すけとうたら	45
		いか	46
		水産調製品の内訳	47
		貝柱(調製品)	48
		乾燥なまこ(調製)	49
		練り製品(魚肉ソーセージ等)	50
		あわび(調製)	51

【利用上の注意】

- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



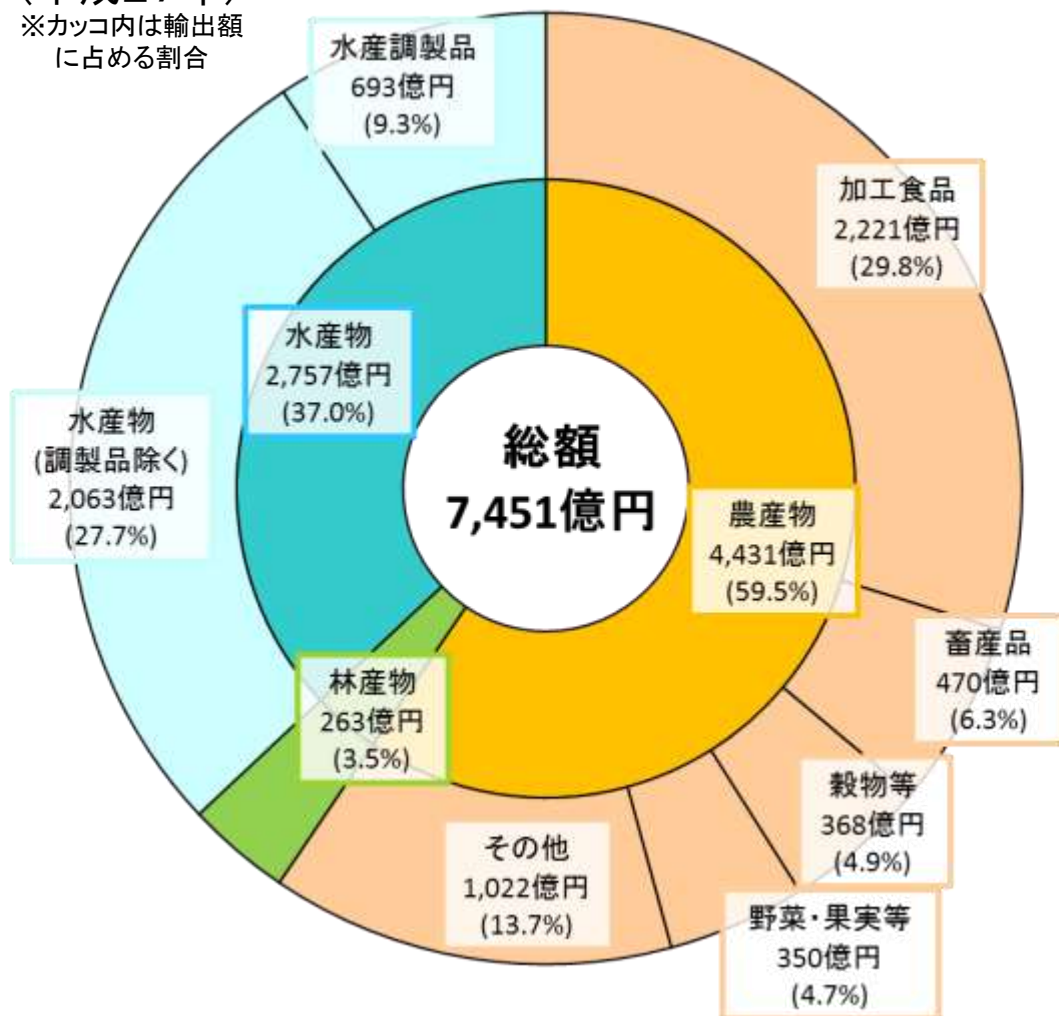
平成27年農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

MAFF

●農林水産物・食品の輸出額を品目別でみると、水産物が約4割、加工食品が約3割を占める。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目	平成26年 2014年	平成27年 2015年	増減率
農林水産物	6,117	7,451	21.8%
農産物	3,569	4,431	24.1%
加工食品 (アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子等)	1,763	2,221	26.0%
畜産物 (食肉、酪農品、鶏卵、牛・豚等の皮等)	447	470	5.1%
穀物等 (小麦粉、米等)	272	368	35.6%
野菜・果実等 (青果物、果汁、野菜・果実の缶詰等)	243	350	44.0%
その他農産物 (たばこ、播種用の種、花き、茶等)	845	1,022	21.0%
林産物 (丸太、製材、合板等)	211	263	24.7%
水産物	2,337	2,757	18.0%
水産物(調製品除く) (生鮮魚介類、真珠(天然・養殖)等)	1,714	2,063	20.3%
水産調製品 (水産缶詰、練り製品(魚肉ソーセージ等))	622	693	11.4%



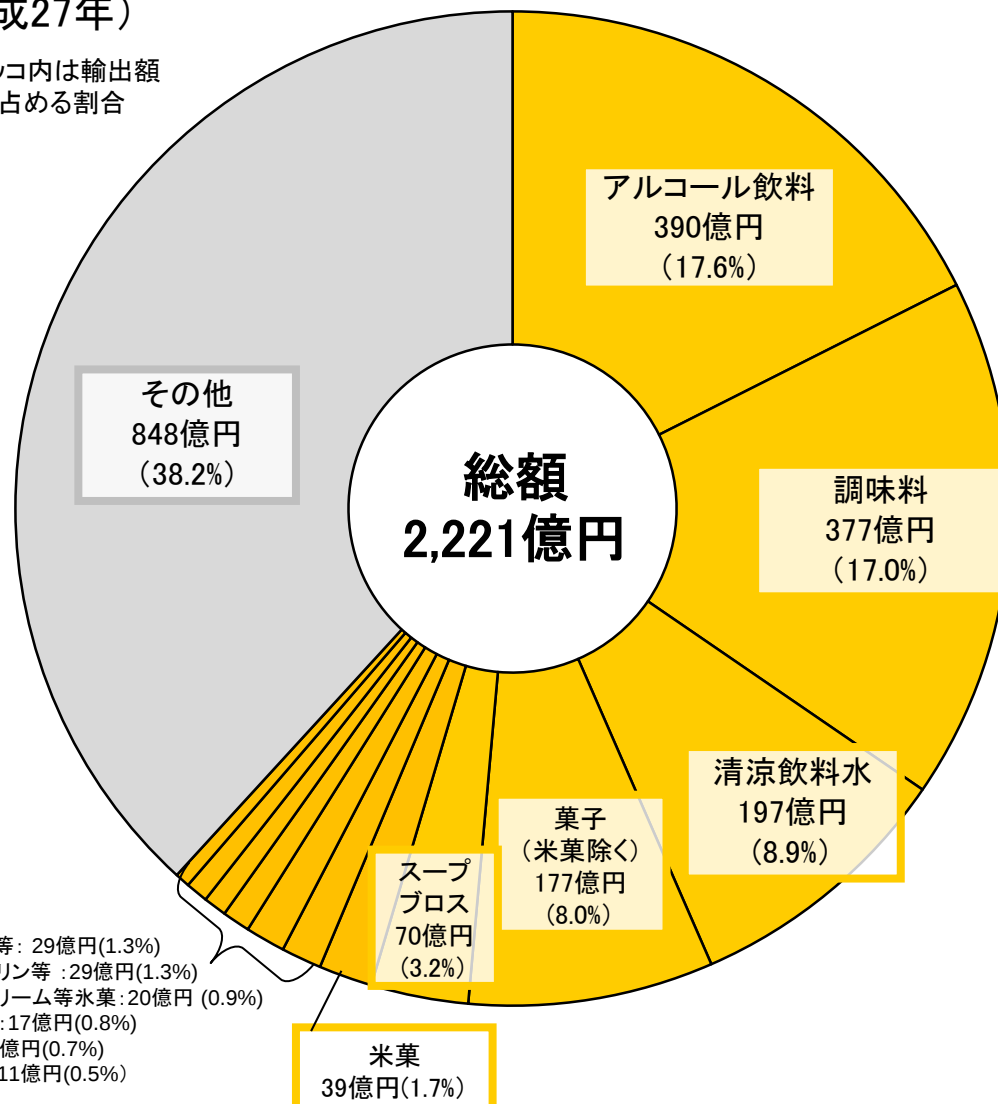
加工食品の内訳

MAFF

●加工食品の品目別内訳をみると、アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位:億円)

品目名	平成26年	平成27年	増減率
アルコール飲料	293.5	390.3	33.0%
清酒	115.1	140.1	21.8%
ウイスキー	58.5	103.8	77.4%
ビール	65.8	85.5	29.9%
焼酎	16.0	15.7	▲1.9%
ぶどう酒	1.5	1.9	28.2%
調味料	329.1	377.3	14.7%
ソース混合調味料	229.9	264.2	14.9%
醤油	51.8	61.9	19.5%
みそ	25.2	27.6	9.6%
清涼飲料水	159.4	197.4	23.8%
菓子(米菓除く)	147.8	177.0	19.8%
チョコレート菓子	76.5	89.0	16.2%
キャンデー類	51.4	60.7	18.3%
ビスケット	10.7	17.0	58.7%
チューインガム	9.1	10.3	12.8%
スープ・ブロス	59.4	70.3	18.4%
米菓	39.4	38.7	▲1.9%
ペプトン等	24.2	29.1	20.3%
デキストリン等	24.5	28.7	17.3%
アイスクリーム等氷菓	15.9	20.1	26.4%
レシチン等	18.4	16.8	▲9.1%
酵母	15.6	16.1	3.7%
香辛料	9.6	10.7	11.3%
その他	626.1	848.3	35.5%
加工食品 計	1,762.9	2,220.8	26.0%

「ソース混合調味料」…ソース、たれ、ドレッシング、カレールー等。

「スープ・ブロス」: スープや出汁の素。

「デキストリン」…タピオカ等のでん粉を分解したもので、健康食品の原料等に使用。

「ペプトン」…牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもので、食品添加物、培地等に使用。

「酵母」…ビール酵母等で、健康食品や飼料の原料に使用。

「レシチン」…卵黄や大豆由来の脂質で、食品添加物、健康食品の原料等に使用。

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



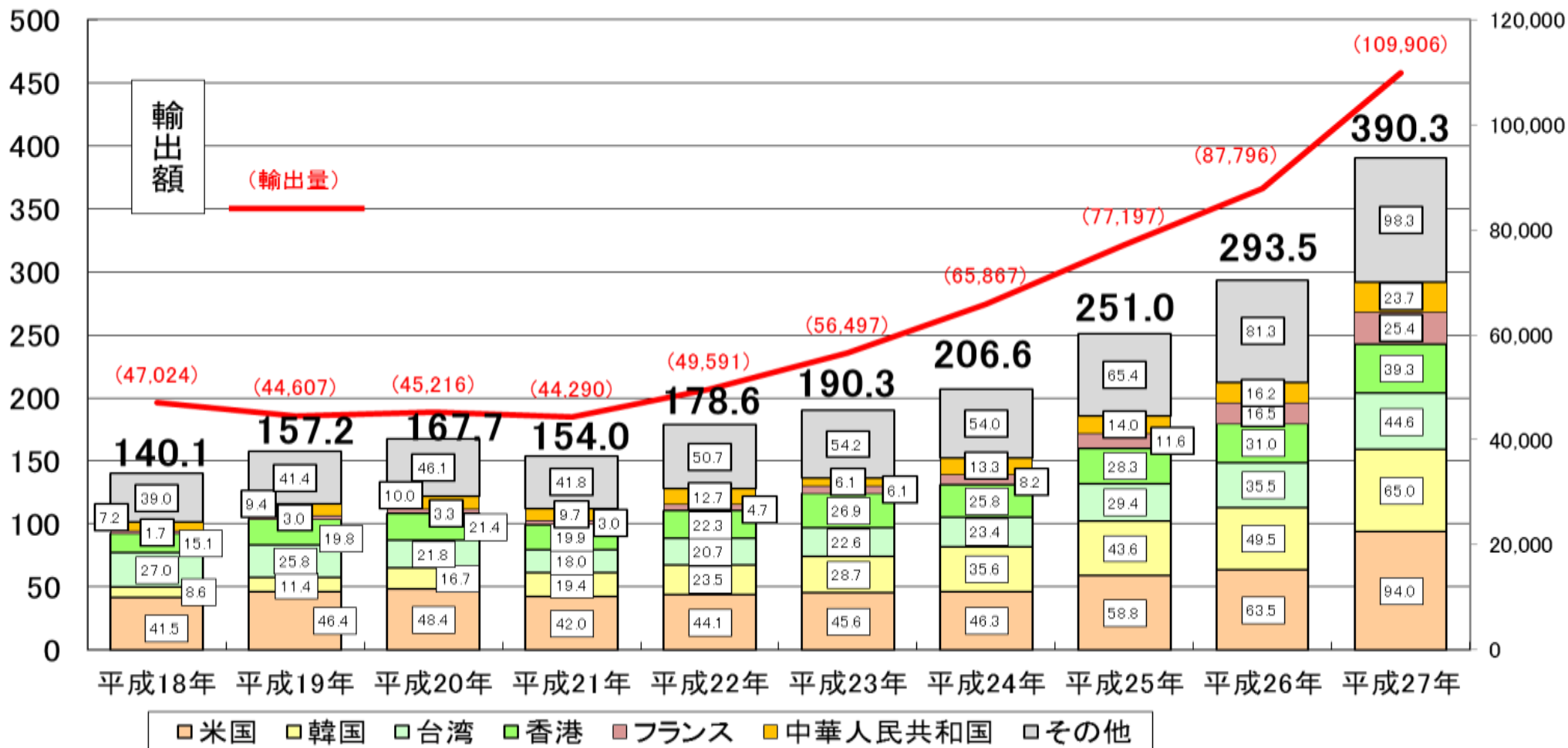
アルコール飲料の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- アルコール飲料の輸出額は、増加傾向。
- 内訳をみると、清酒(140億円)が最も多く、次いでウイスキー(104億円)、ビール(85億円)。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)





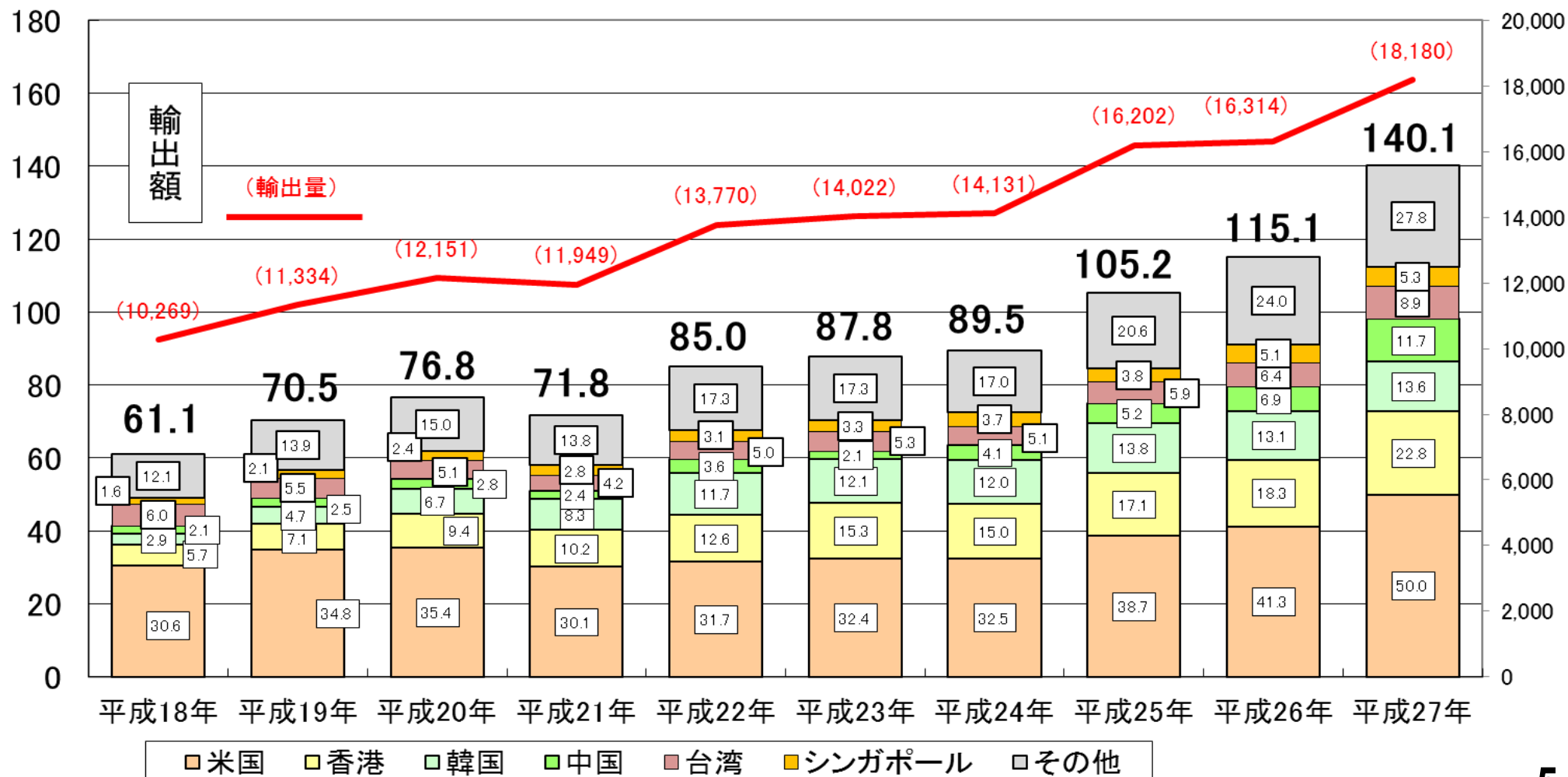
日本酒(清酒)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本酒(清酒)の輸出額は、日本食ブームを背景に増加傾向。
- 米国、香港、韓国、中国、台湾、シンガポール向けが全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



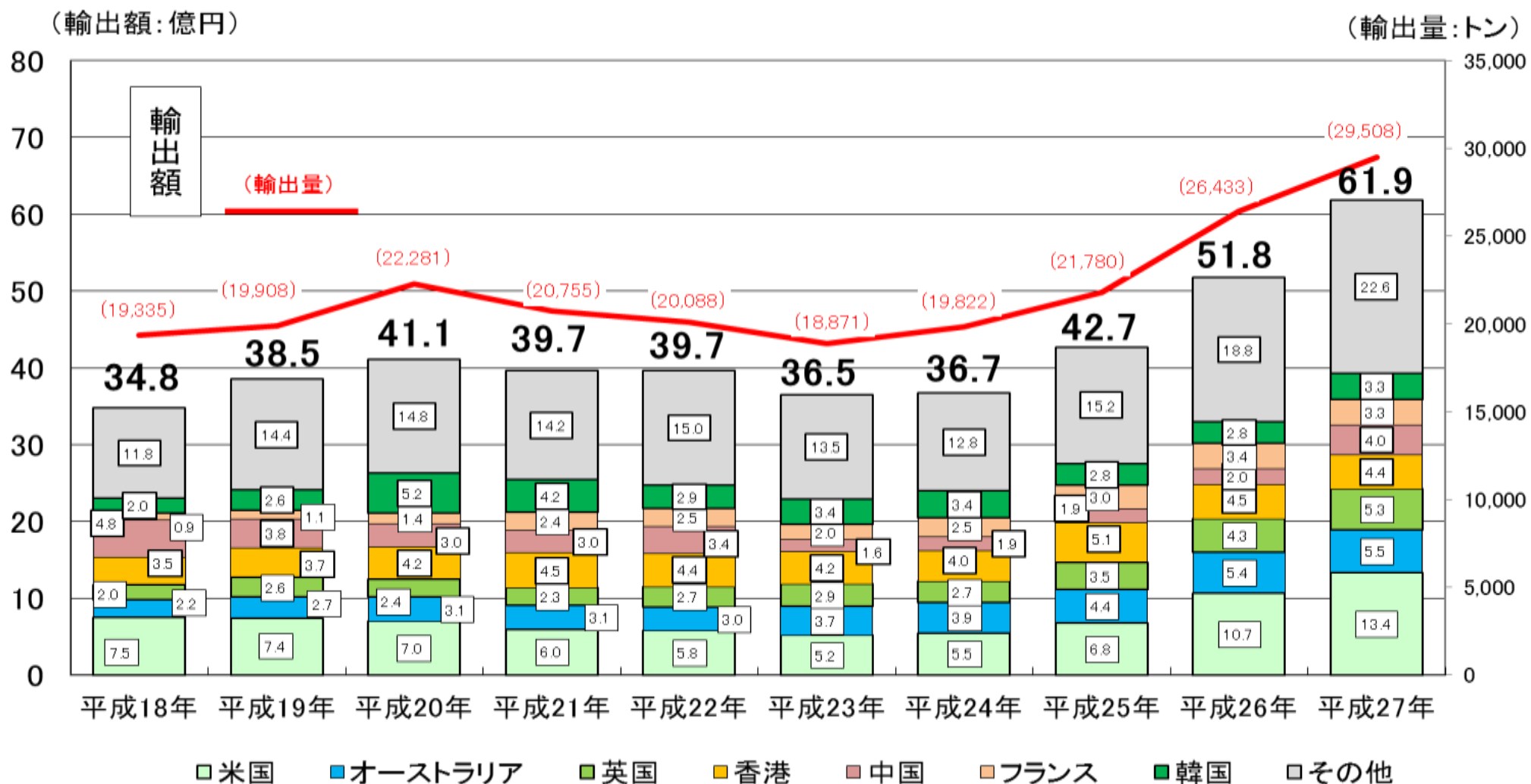
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



醤油の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本の調味料の代名詞として、多くの国・地域に向けて醤油が輸出されている。

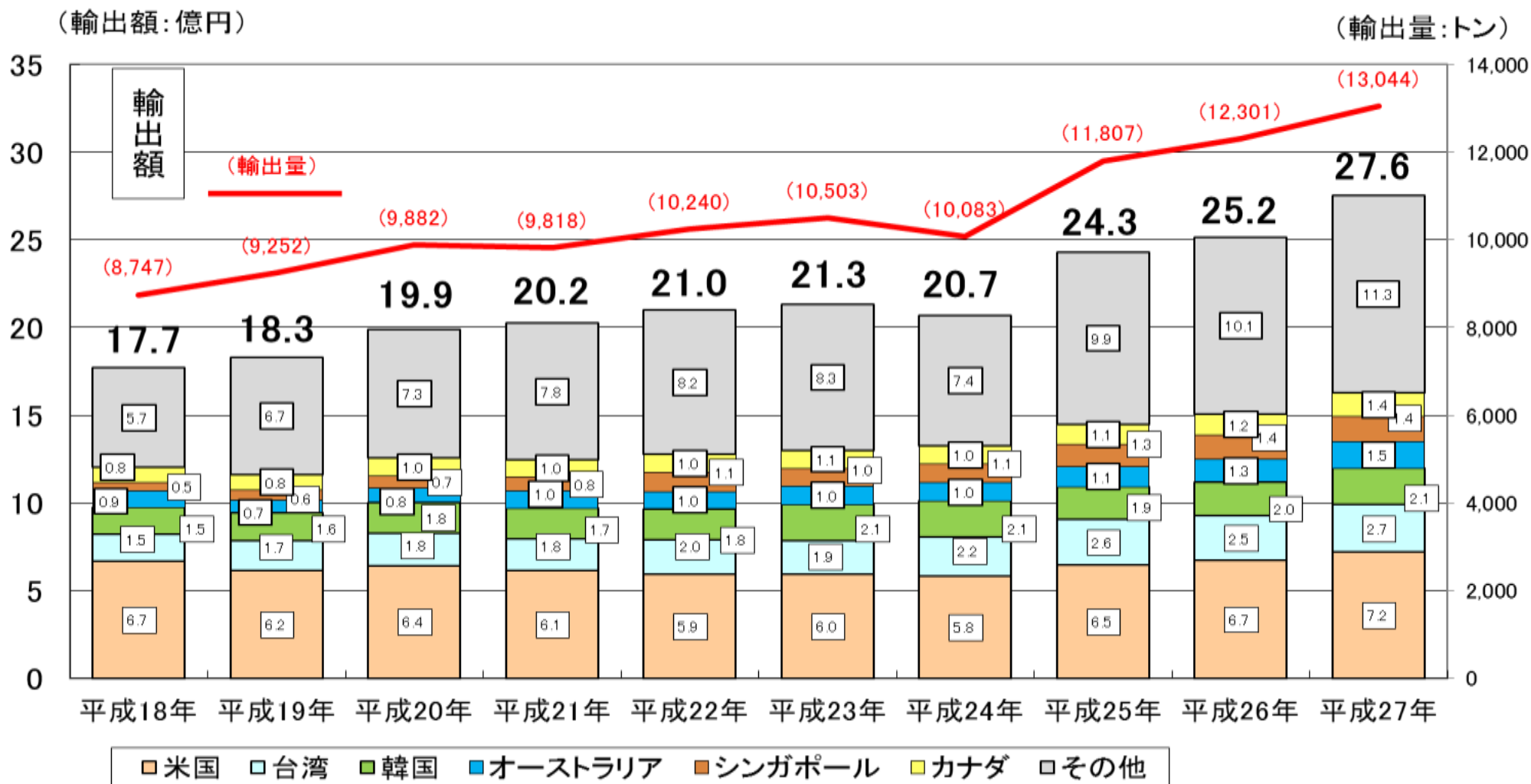




みその輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- みその輸出額は、増加傾向。
- 日本食レストランの普及等に伴い、多くの国・地域に向けてみそが輸出され、「その他」の国への輸出が伸びている。





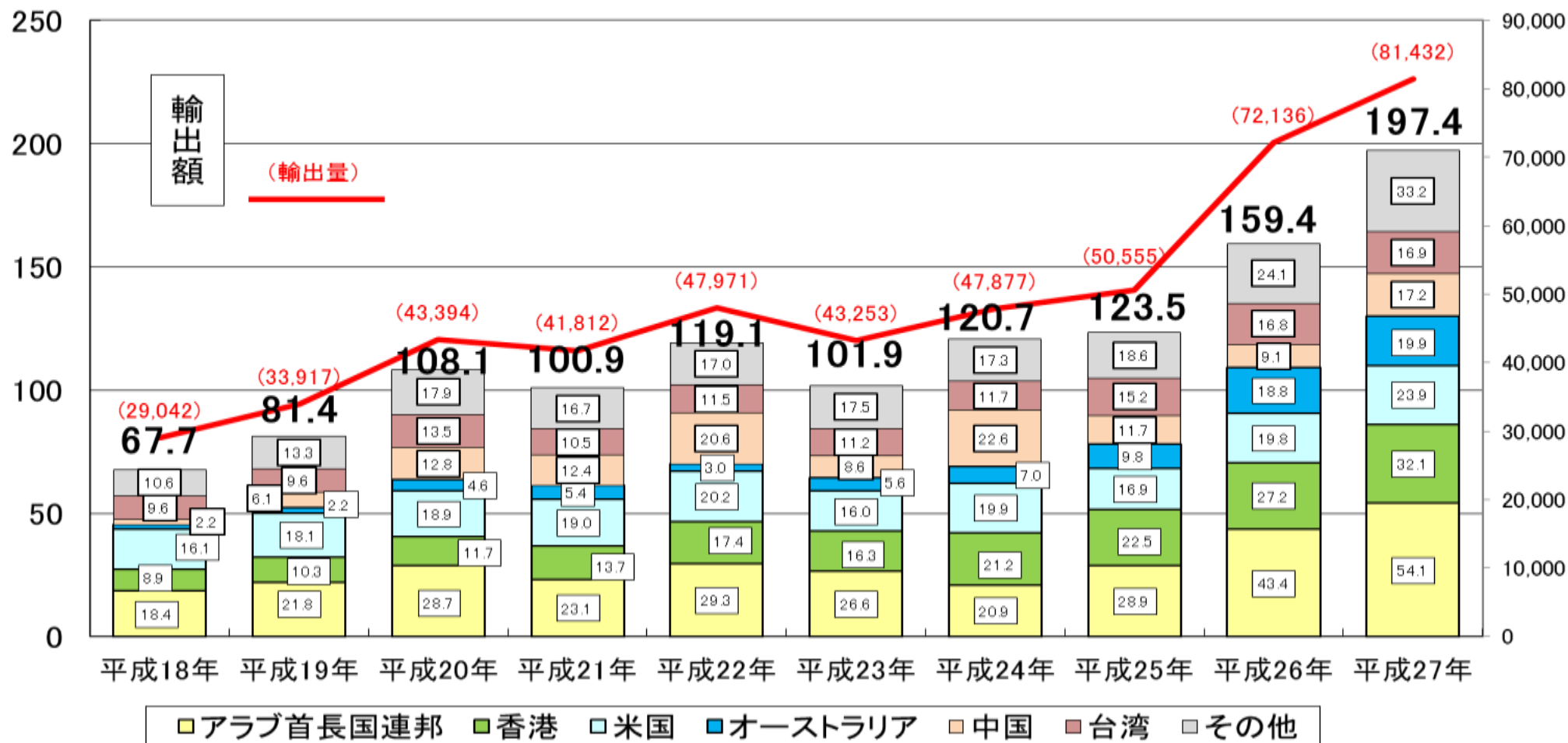
清涼飲料水の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 清涼飲料水の輸出額は、アラブ首長国連邦向けを筆頭に増加傾向。特にオーストラリア向けは近年大きく伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



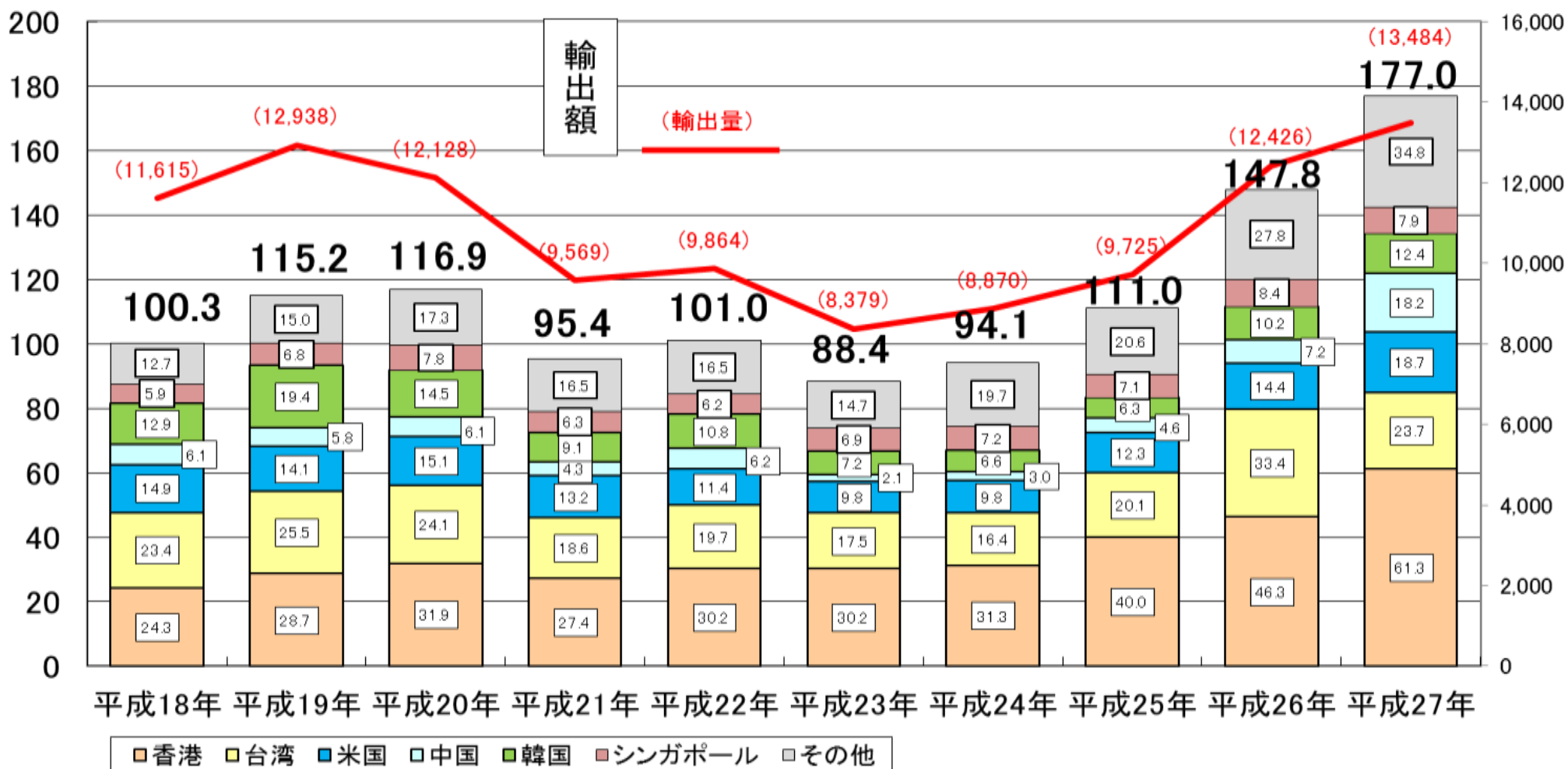
菓子(米菓除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本産菓子は、高品質なものと認識されており、香港、中国を中心に輸出が大きく伸びている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



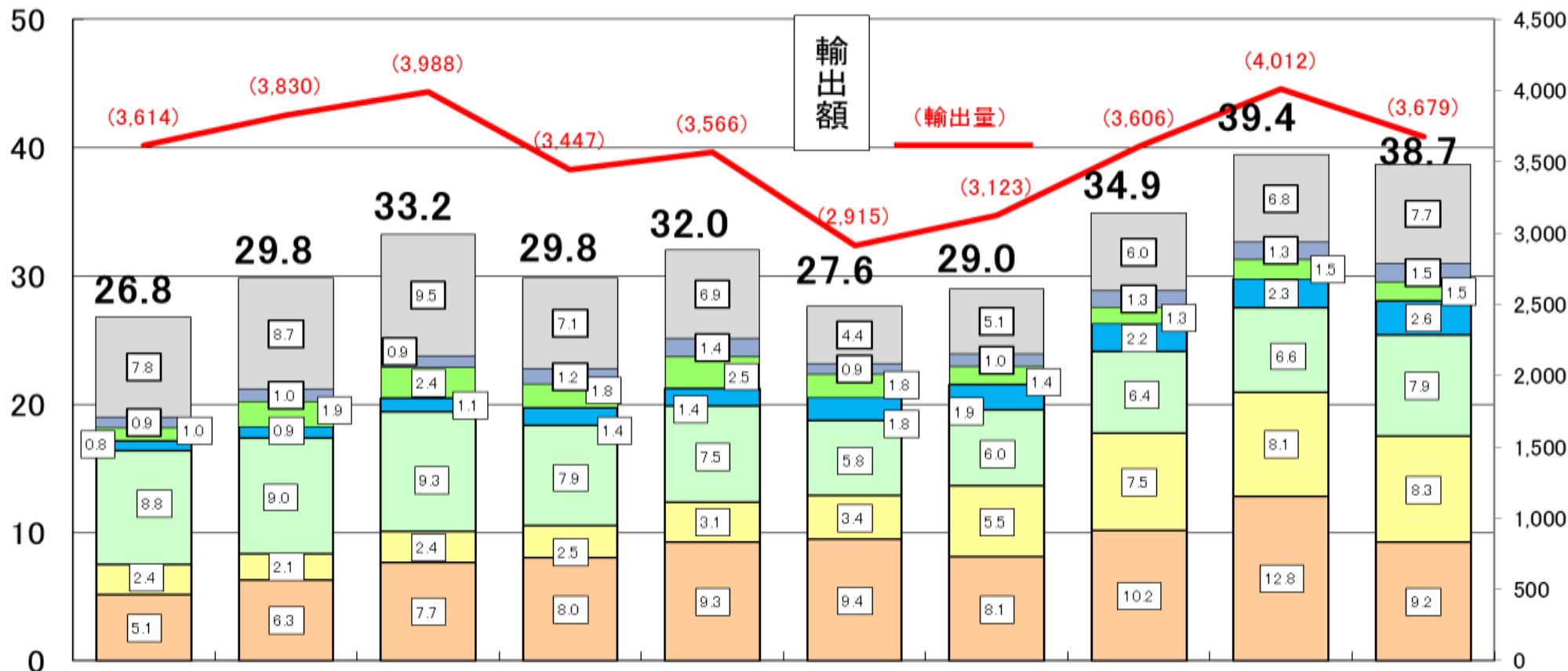
米菓の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 米菓の輸出額は、台湾、香港、米国、シンガポール、韓国、サウジアラビア向けで全体の約8割を占める。
- 平成27年は、台湾における輸入規制強化の影響を受け、対前年比で減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



平成18年 平成19年 平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年 平成27年

台湾 香港 米国 シンガポール 韓国 サウジアラビア その他



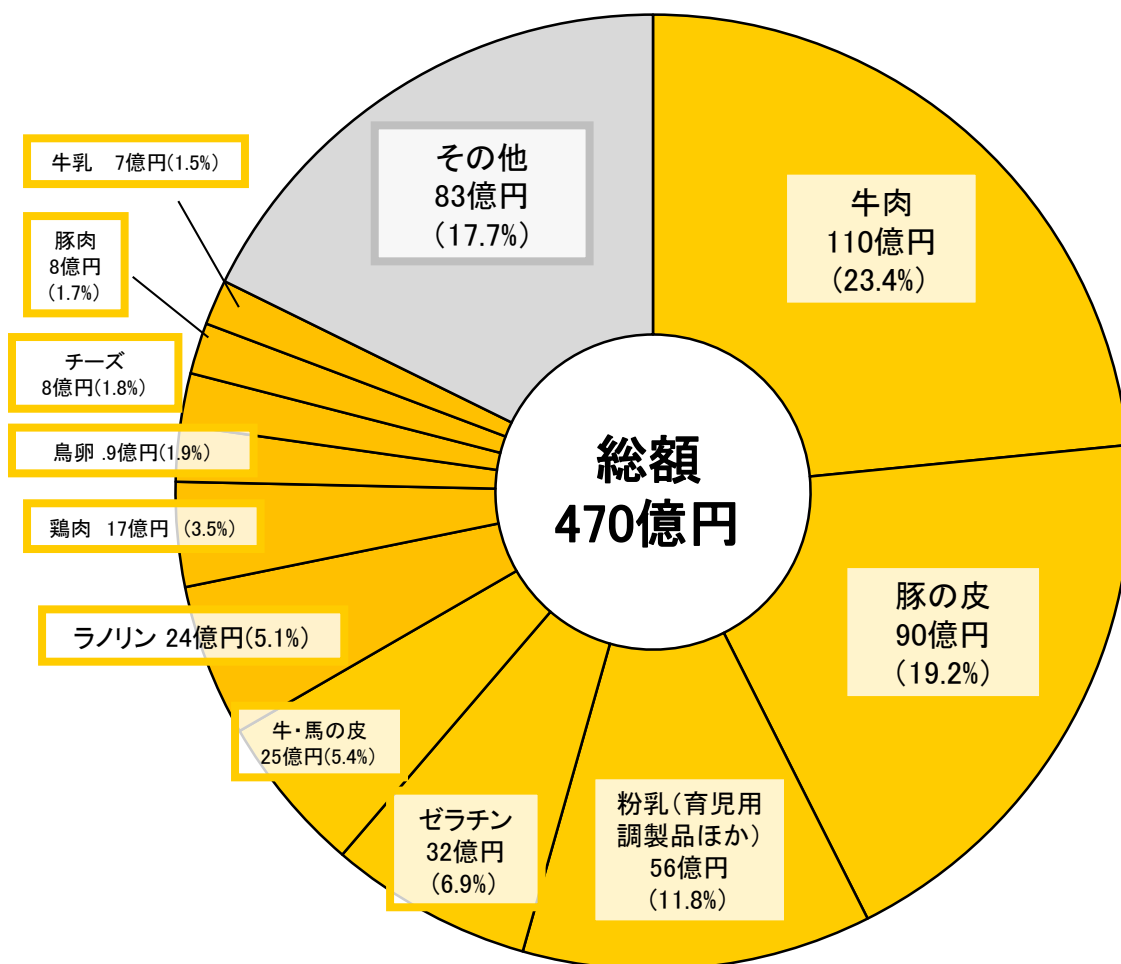
畜産品の内訳

MAFF

●畜産品の品目別内訳をみると、牛肉、粉乳の輸出が大幅に増加。

(平成27年) ※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位:億円)



品目名	平成26年	平成27年	増減率
牛肉	81.7	110.0	34.7%
豚の皮	116.1	90.0	▲22.5%
粉乳(育児用調製品ほか)	36.0	55.5	54.1%
ゼラチン	30.5	32.3	5.9%
牛・馬の皮	27.9	25.3	▲9.4%
ラノリン	31.0	24.2	▲22.0%
鶏肉	17.0	16.6	▲2.4%
鳥卵	4.9	8.9	83.2%
チーズ	6.0	8.3	39.0%
豚肉	6.8	8.1	19.7%
牛乳	6.2	7.2	16.6%
その他	82.8	83.2	0.6%
畜産品計	446.9	469.8	5.1%

※「ゼラチン」・・・牛や豚の皮や骨から抽出されるたんぱく質で、ゼリー等に使用。
「ラノリン」・・・羊毛製品の副産物として生産される油脂で、化粧品等に使用。



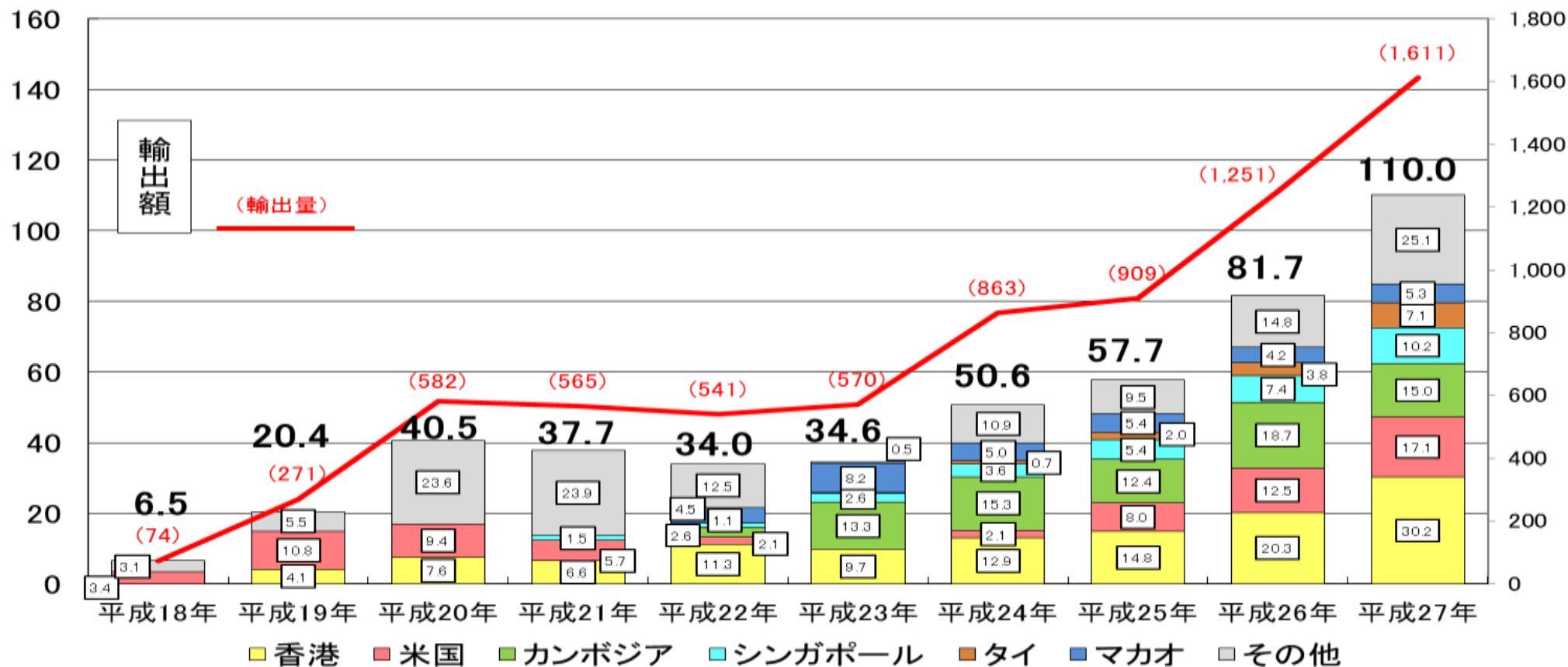
牛肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成20年から23年の輸出は、口蹄疫発生、原発事故等の影響によって輸出が一時停止したことに加え、円高の影響もあり、横ばいで推移。
- 平成24年に対米輸出が再開、平成26年の対EU輸出解禁、平成27年も主な輸出先国である香港、米国、シンガポール向けが総じて伸び、全体で過去最高を大きく更新。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



注: ぐず肉を除いた数値
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



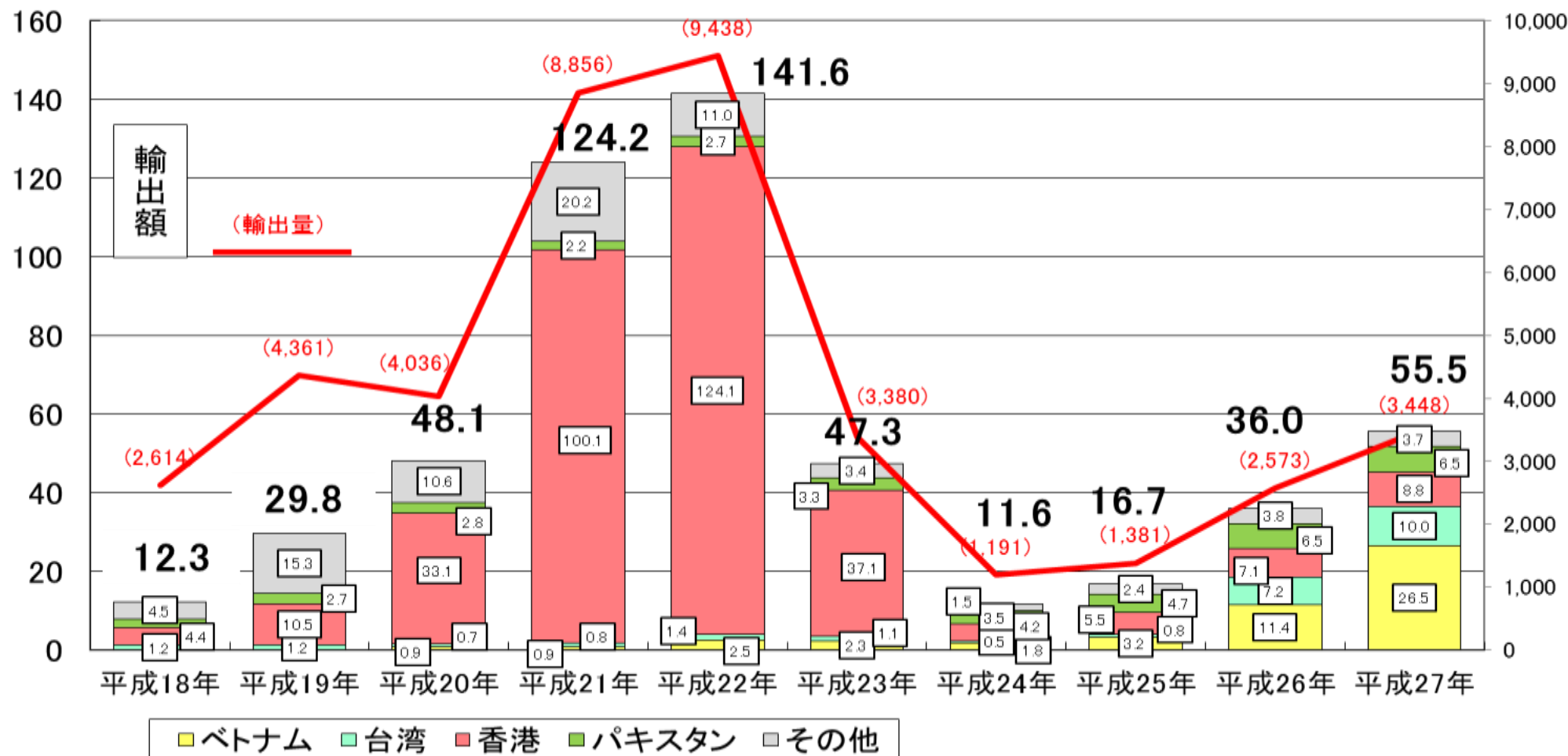
粉乳(育児用調製品ほか)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産粉乳(育児用調製品ほか)に対する需要増により輸出額が増加。その後、東京電力福島第一原発の事故等の影響により輸出額は大きく減少したが、平成25年から回復傾向。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



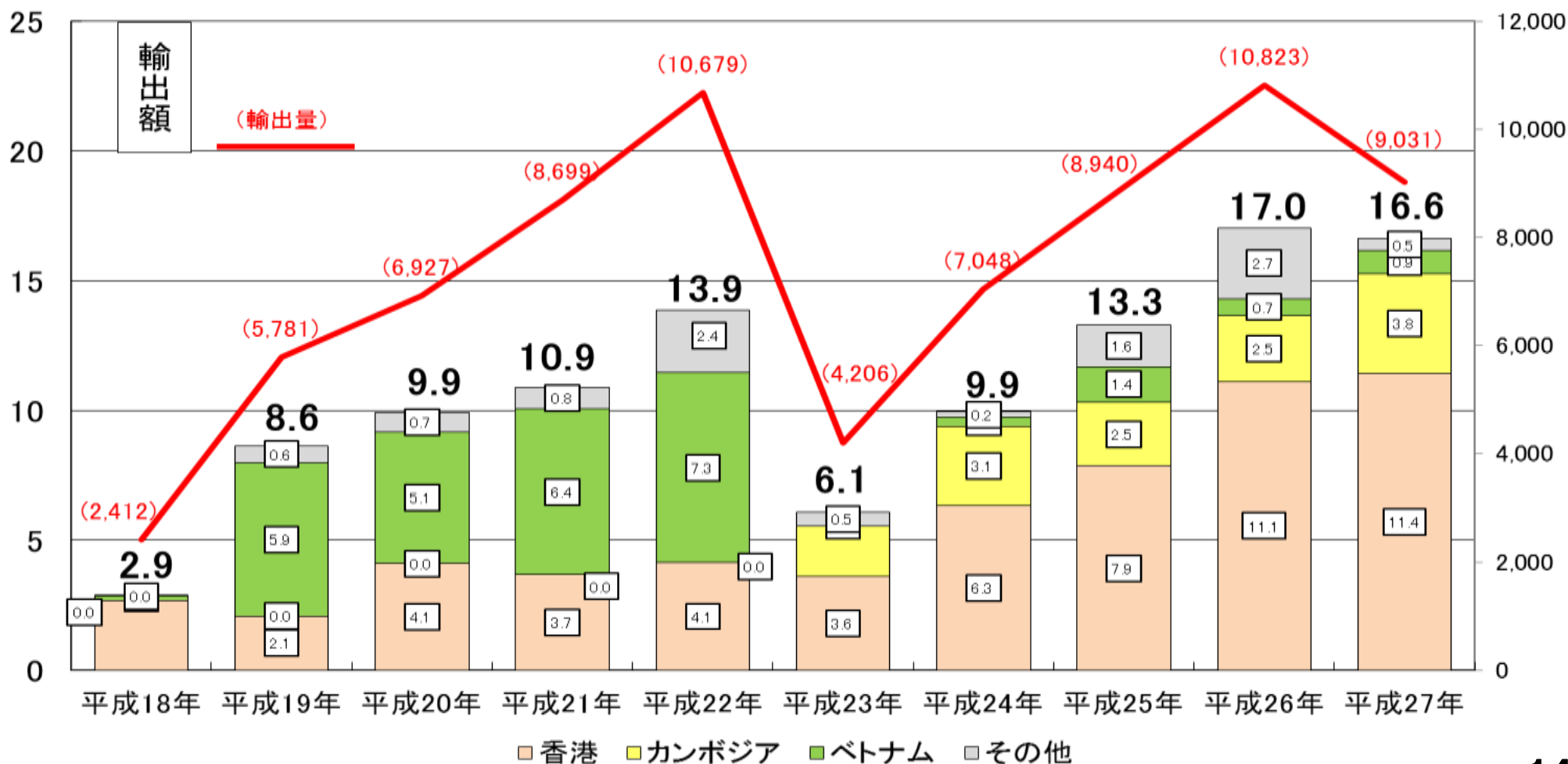
鶏肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 鶏肉は、香港向けが多い。東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を超えて伸びている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



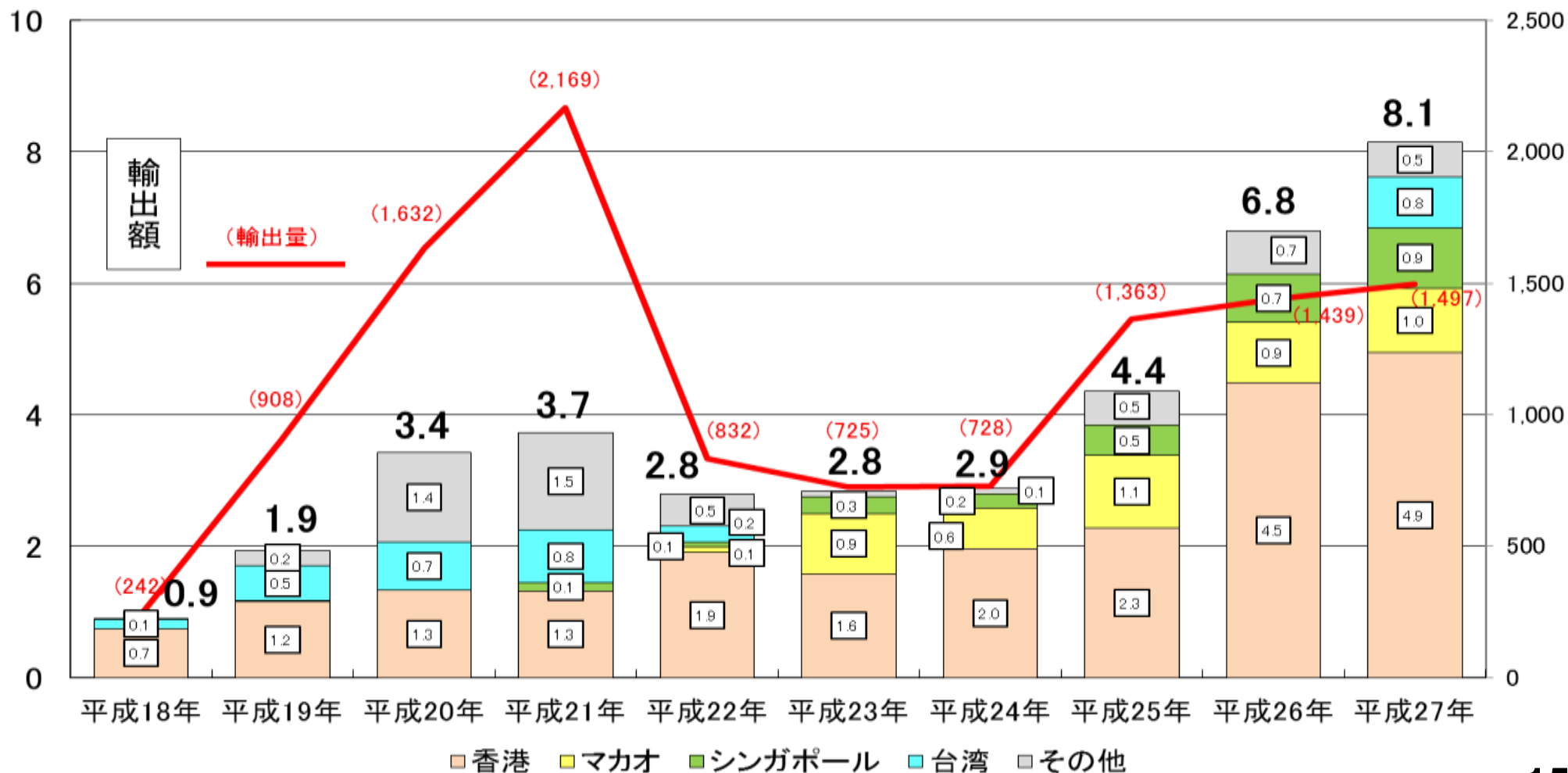
豚肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

●豚肉は、香港をはじめ、マカオ、シンガポール、台湾向けが大半を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



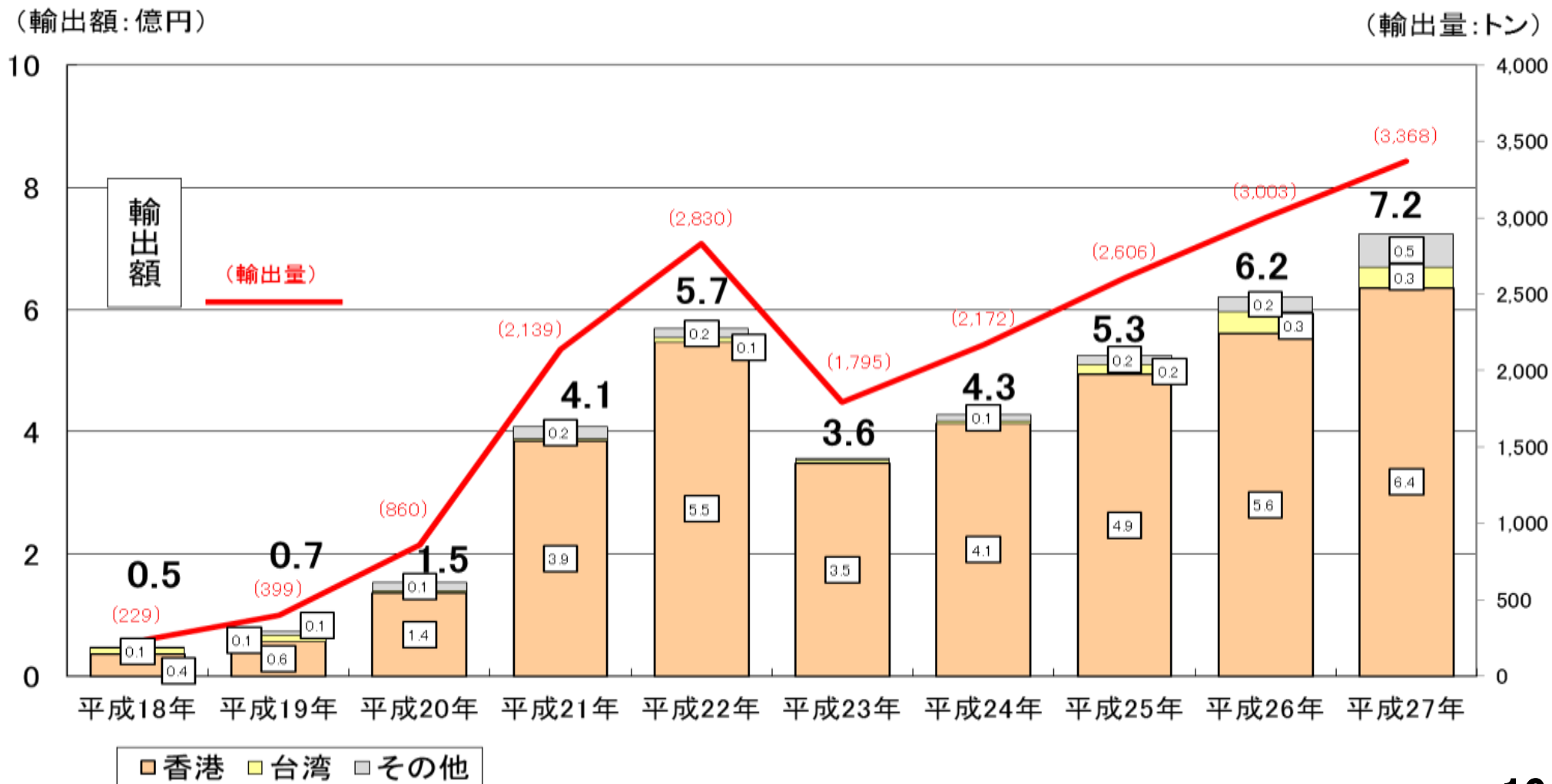
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



牛乳の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産牛乳に対する需要増により、輸出額が増加。その後、平成23年の東京電力福島第一原発の事故等の影響により、輸出額は大きく減少したものの、平成24年以降、再び増加し、平成27年は震災前の水準を超えて伸びている。



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



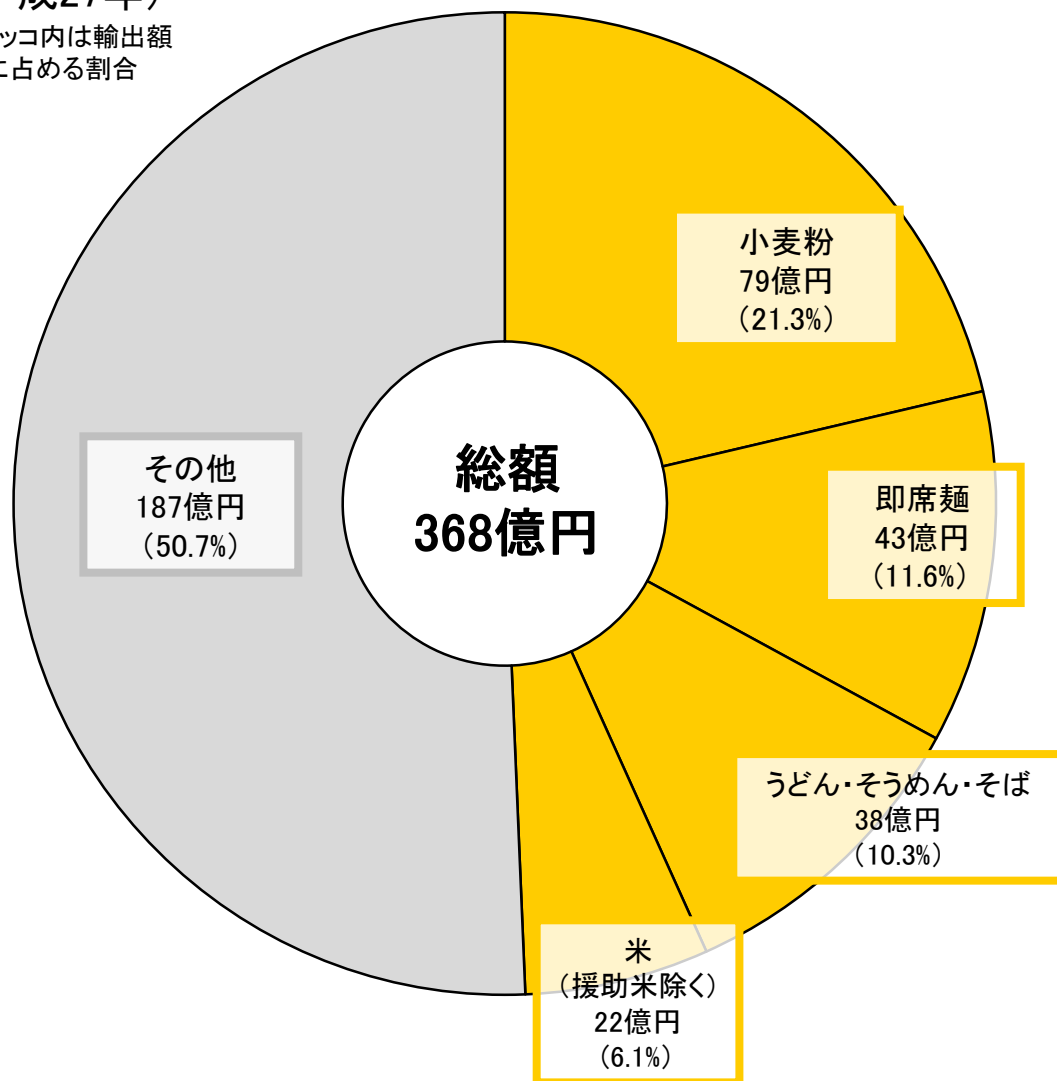
穀物等の内訳

MAFF

●穀物等の品目別内訳をみると、小麦粉、即席麺、うどん・そうめん・そばなどの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成26年	平成27年	増減率
小麦粉	74.5	78.6	5.5%
即席麺	35.4	42.8	20.9%
うどん・そうめん・そば	31.7	38.1	20.0%
米(援助米除く)	14.3	22.3	56.4%
その他	115.9	186.6	61.1%
穀物等計	271.7	368.4	35.6%



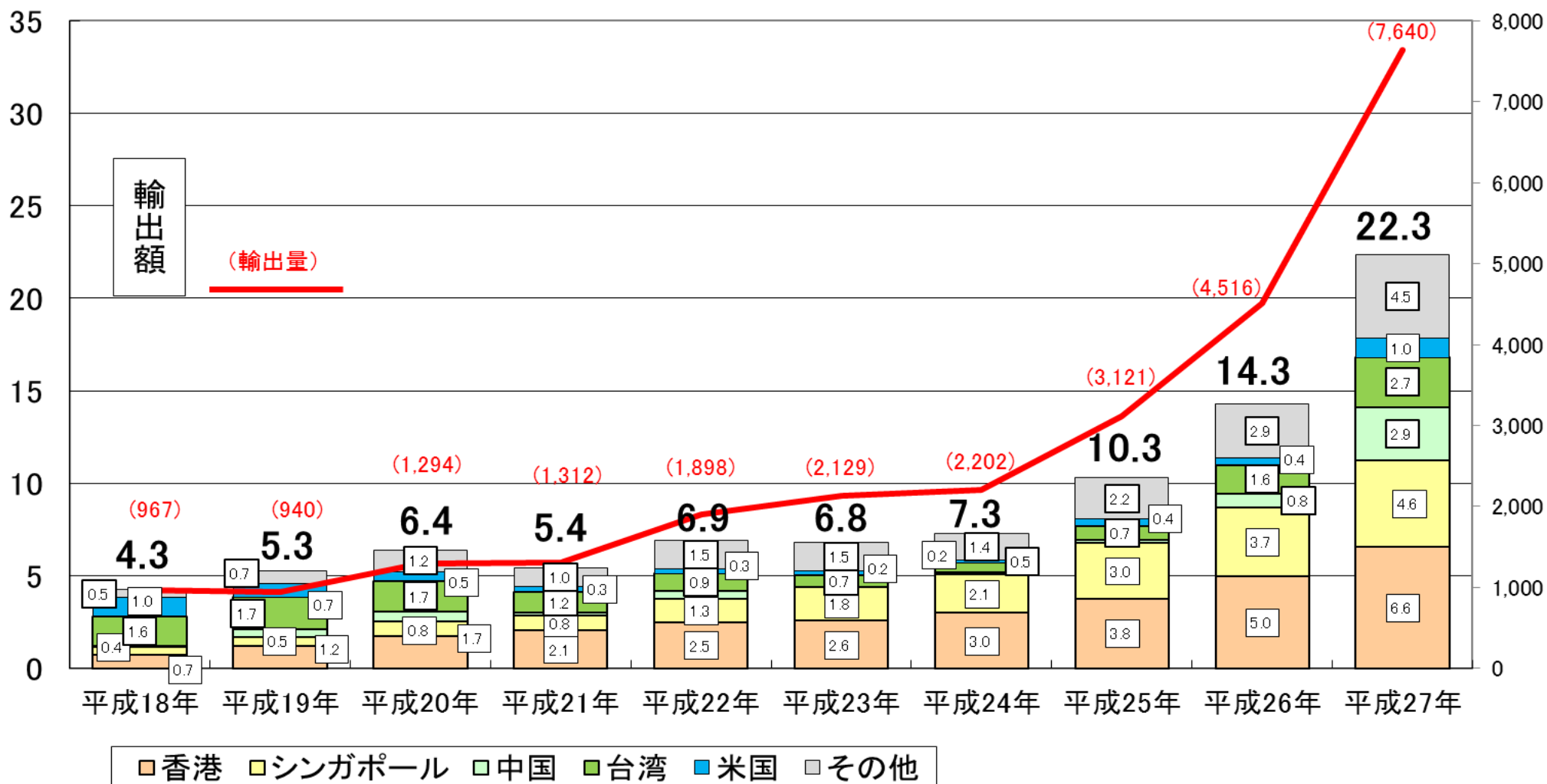
米(援助米除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は、香港、シンガポール、中国、台湾向けが牽引して増加傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



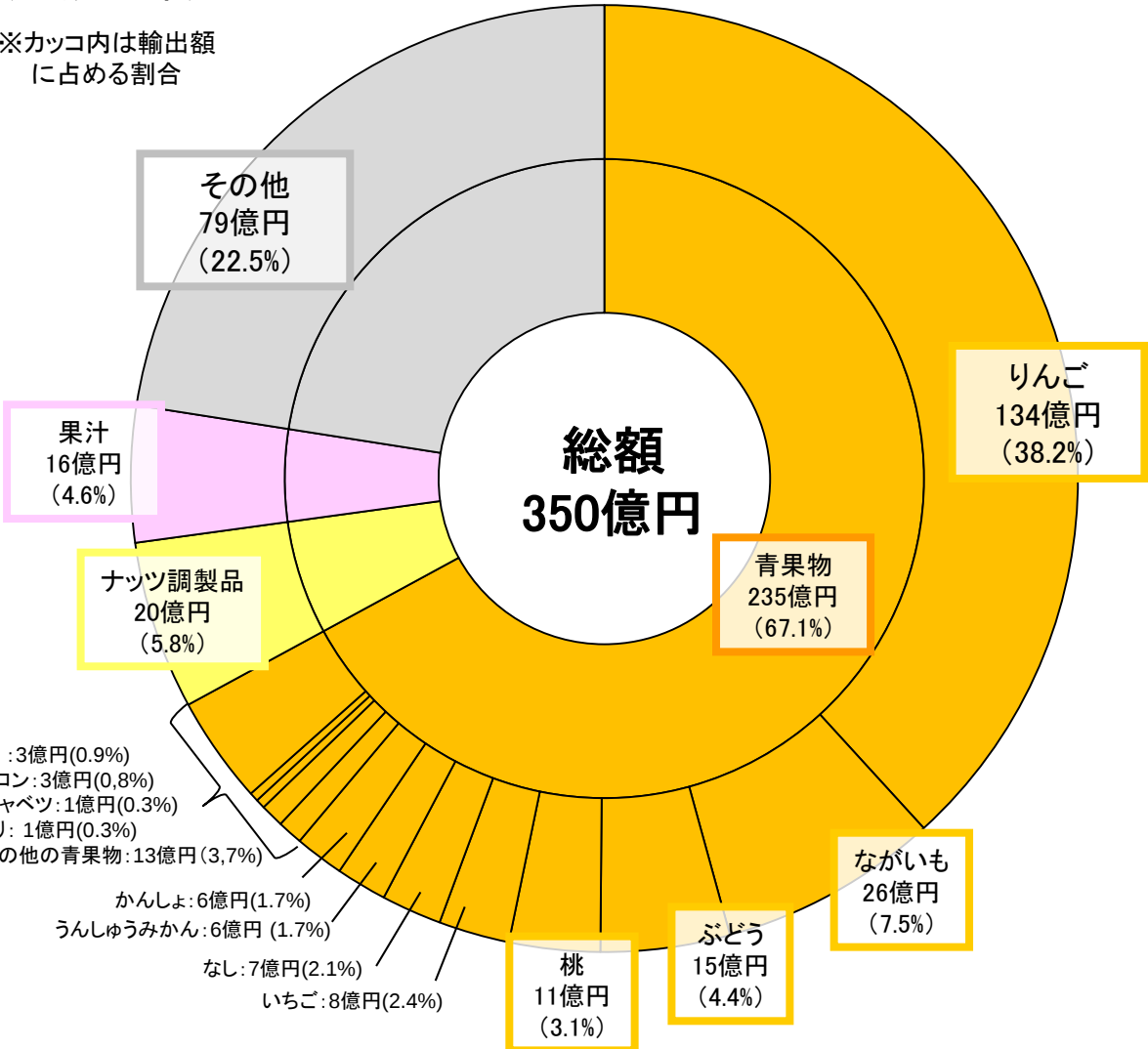
野菜・果実等の内訳

MAFF

● 野菜・果実等の品目別内訳をみると、りんご、ながいもの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額に占める割合



(単位:億円)

品目名	平成26年	平成27年	増減率
青果物	163.0	235.0	44.2%
りんご	86.4	133.9	55.0%
ながいも	24.2	26.3	8.8%
ぶどう	9.1	15.4	69.3%
桃	8.3	10.9	31.2%
いちご	4.4	8.5	94.9%
なし	5.4	7.2	33.9%
うんしゅうみかん	7.2	6.1	▲15.9%
かんしょ	3.8	5.9	56.4%
柿	2.7	3.0	10.2%
メロン	1.6	2.8	77.3%
キャベツ	0.7	1.1	65.4%
くり	4.2	1.1	▲74.6%
その他の青果物	5.0	12.8	154.3%
ナッツ調製品	15.4	20.2	31.4%
果汁	12.9	16.3	25.8%
その他	52.0	78.9	51.7%
野菜・果実等計	243.3	350.4	44.0%

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



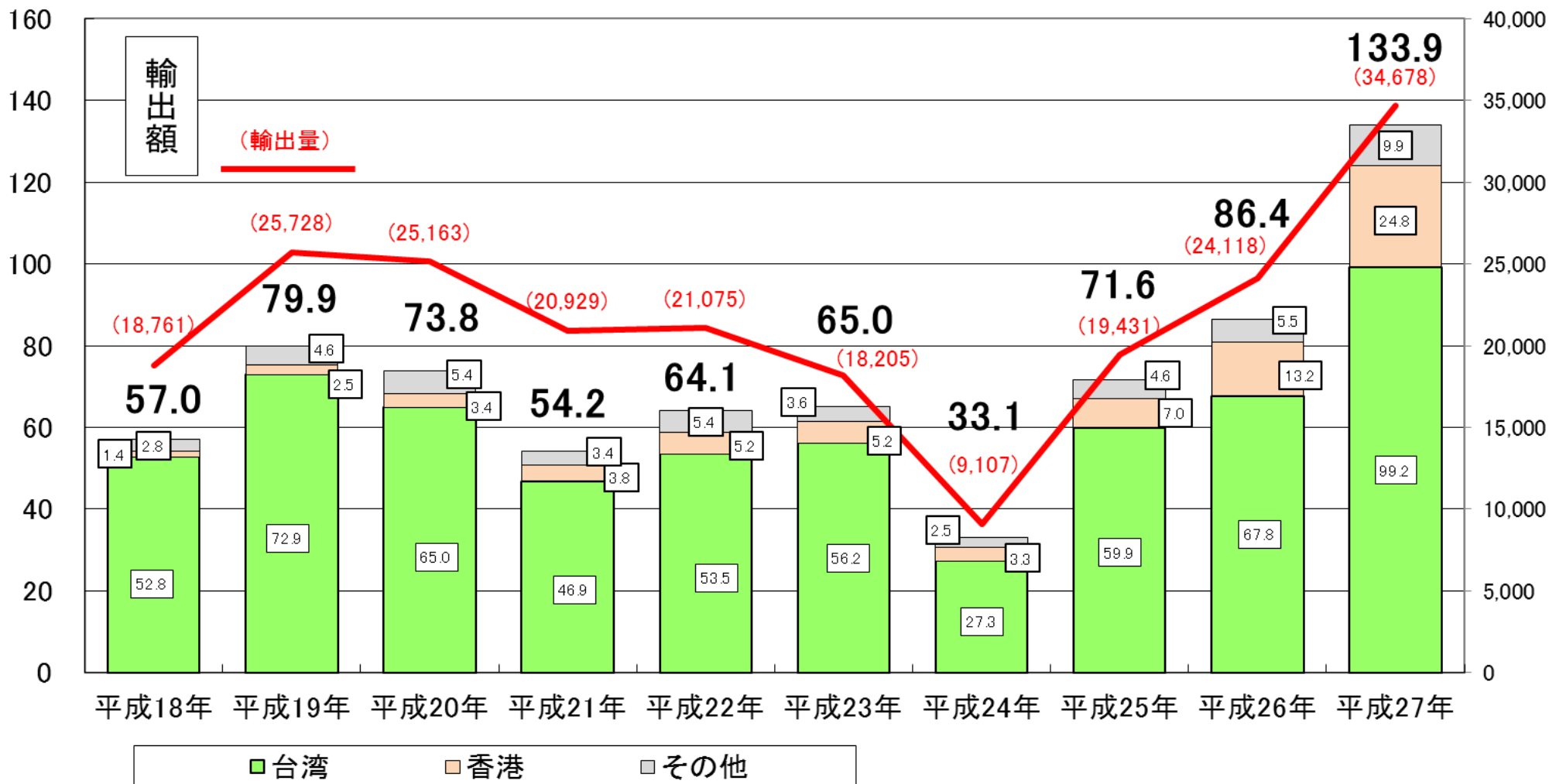
りんごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- りんごは果実輸出の主力産品であり、台湾向けが中心。平成26年及び27年ともに作柄が良く、品質が高く評価され、輸出が伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



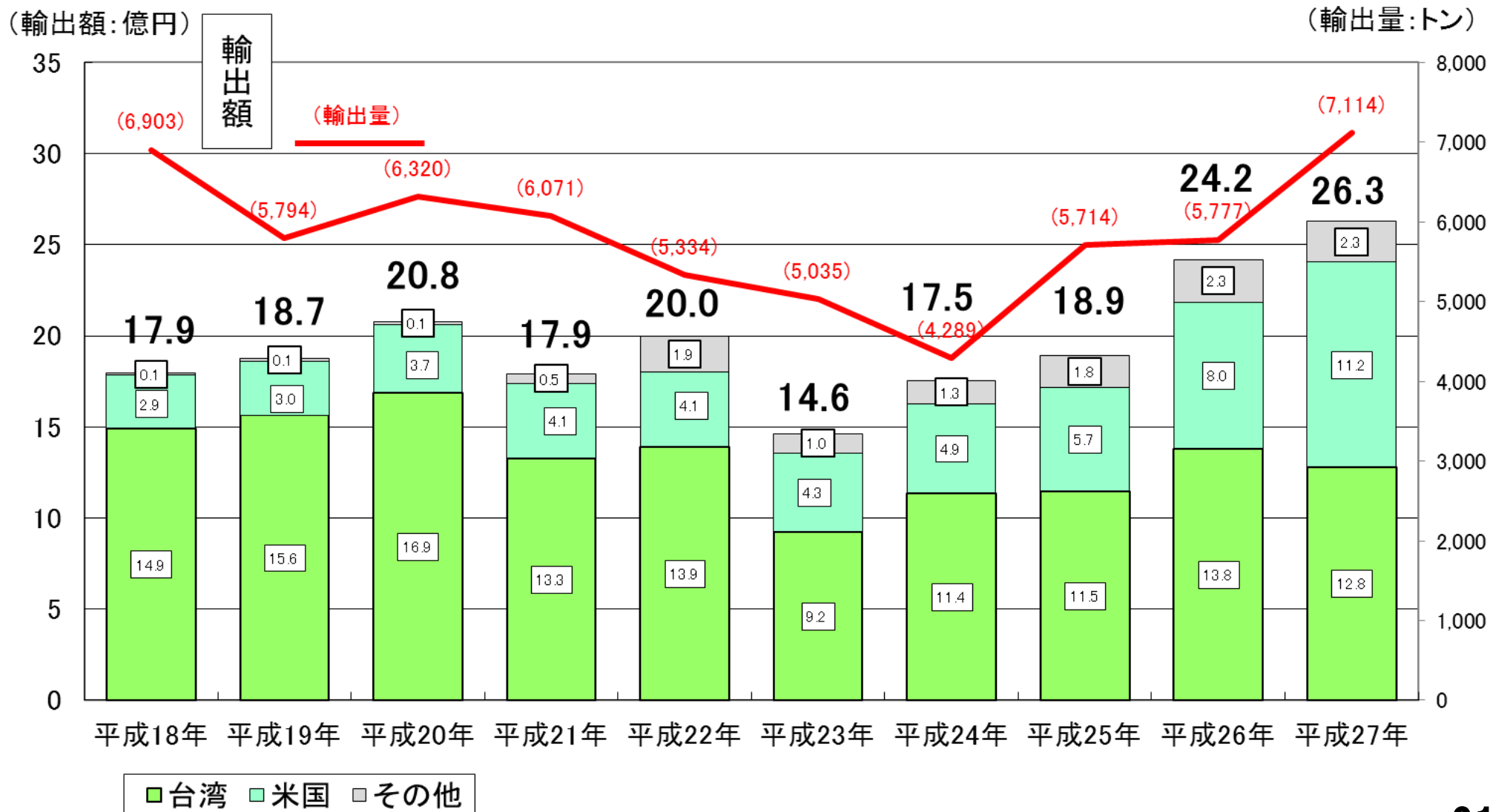
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



ながいもの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ながいものは、野菜輸出の主力産品であり、震災後、増加傾向。主に台湾、米国向けに輸出。



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



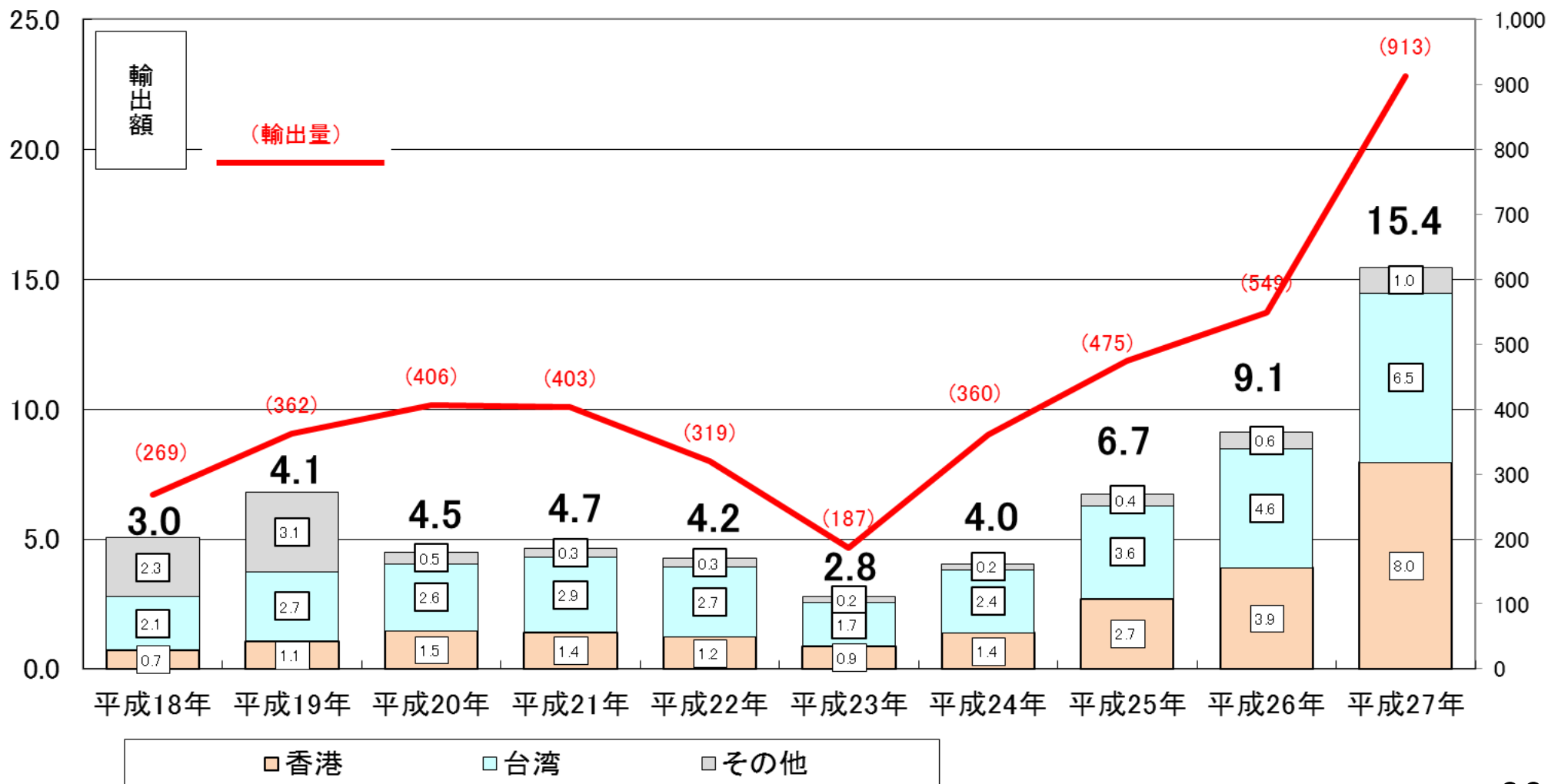
ぶどうの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ぶどうの輸出額は、香港、台湾向けが多く、平成24年以降、堅調に伸びている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



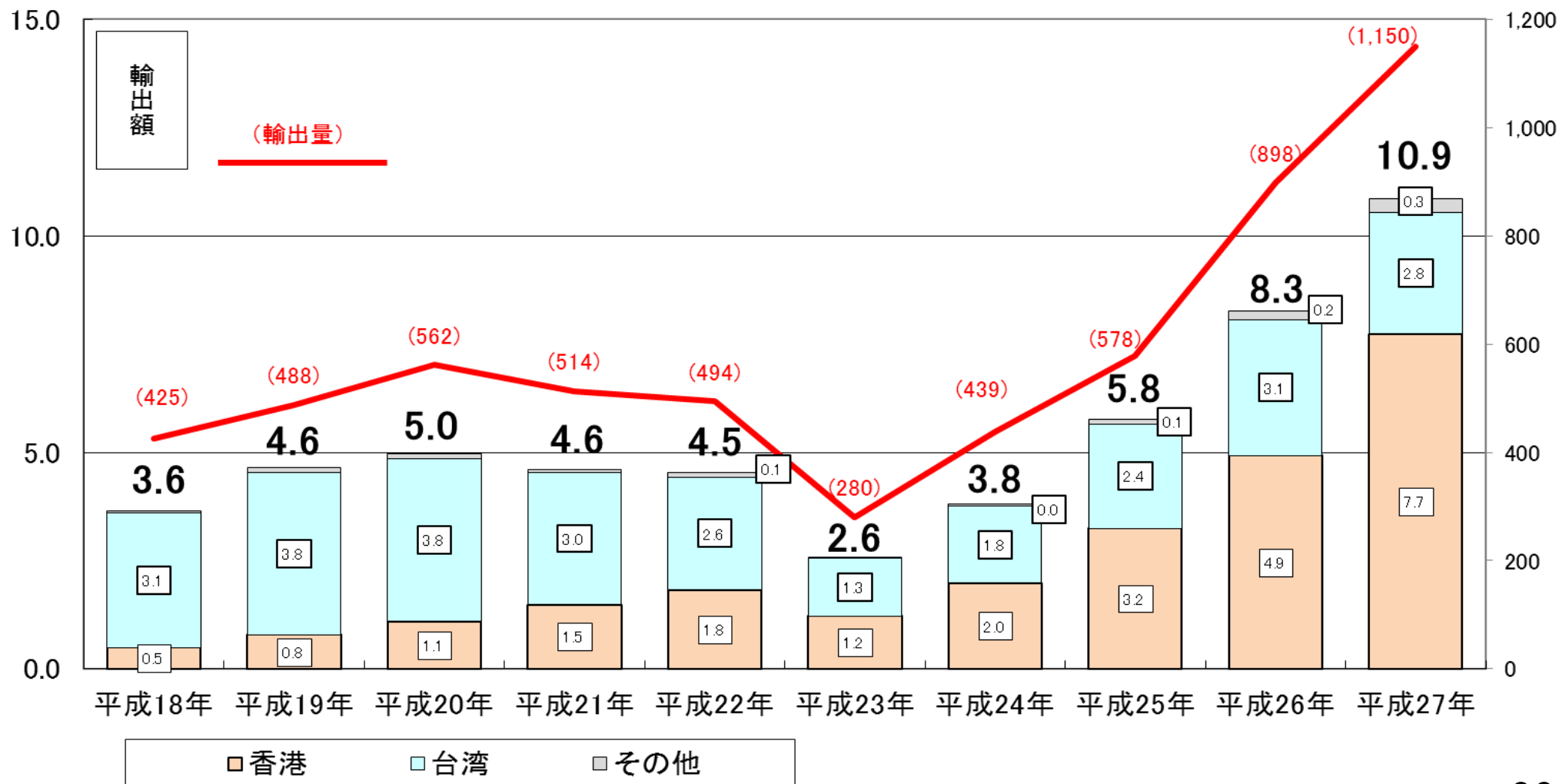
桃の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 桃の輸出額は、香港、台湾向けが多く、平成24年以降、堅調に伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



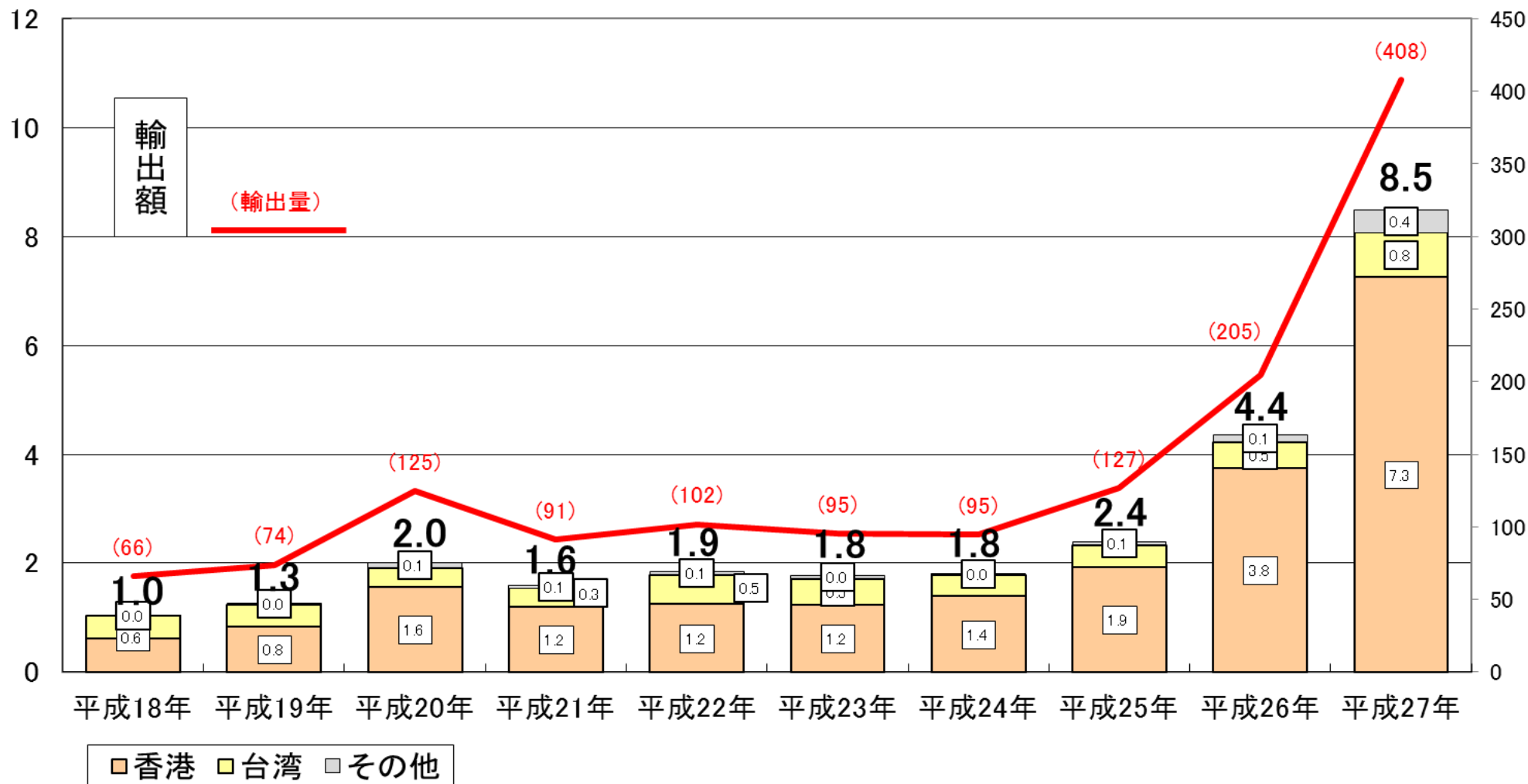
いちごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

●いちごは、香港、台湾向けを中心に輸出。平成27年は香港向け輸出が過去最高を記録。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)

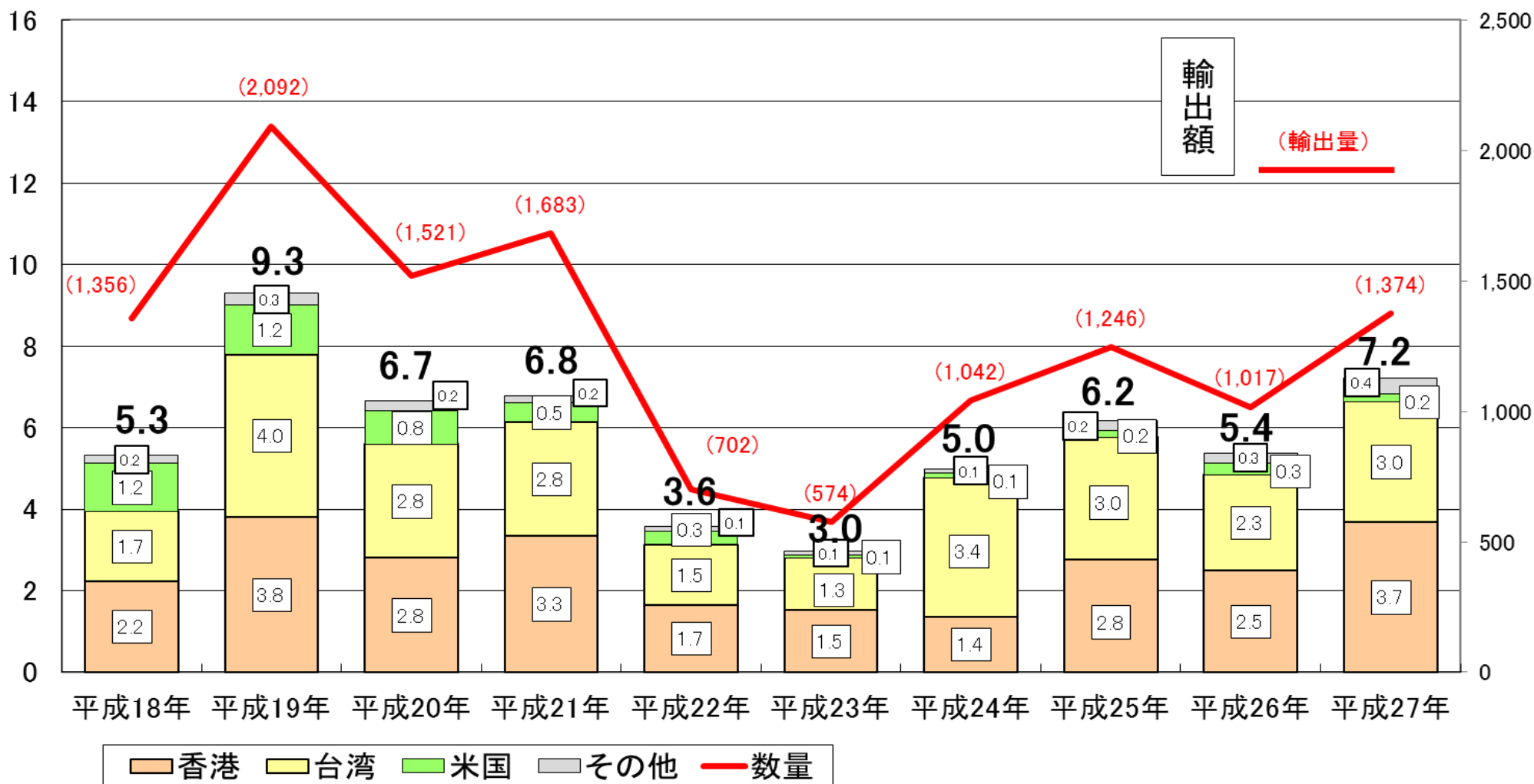


資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



(輸出額: 億円)

(輸出量:トン)





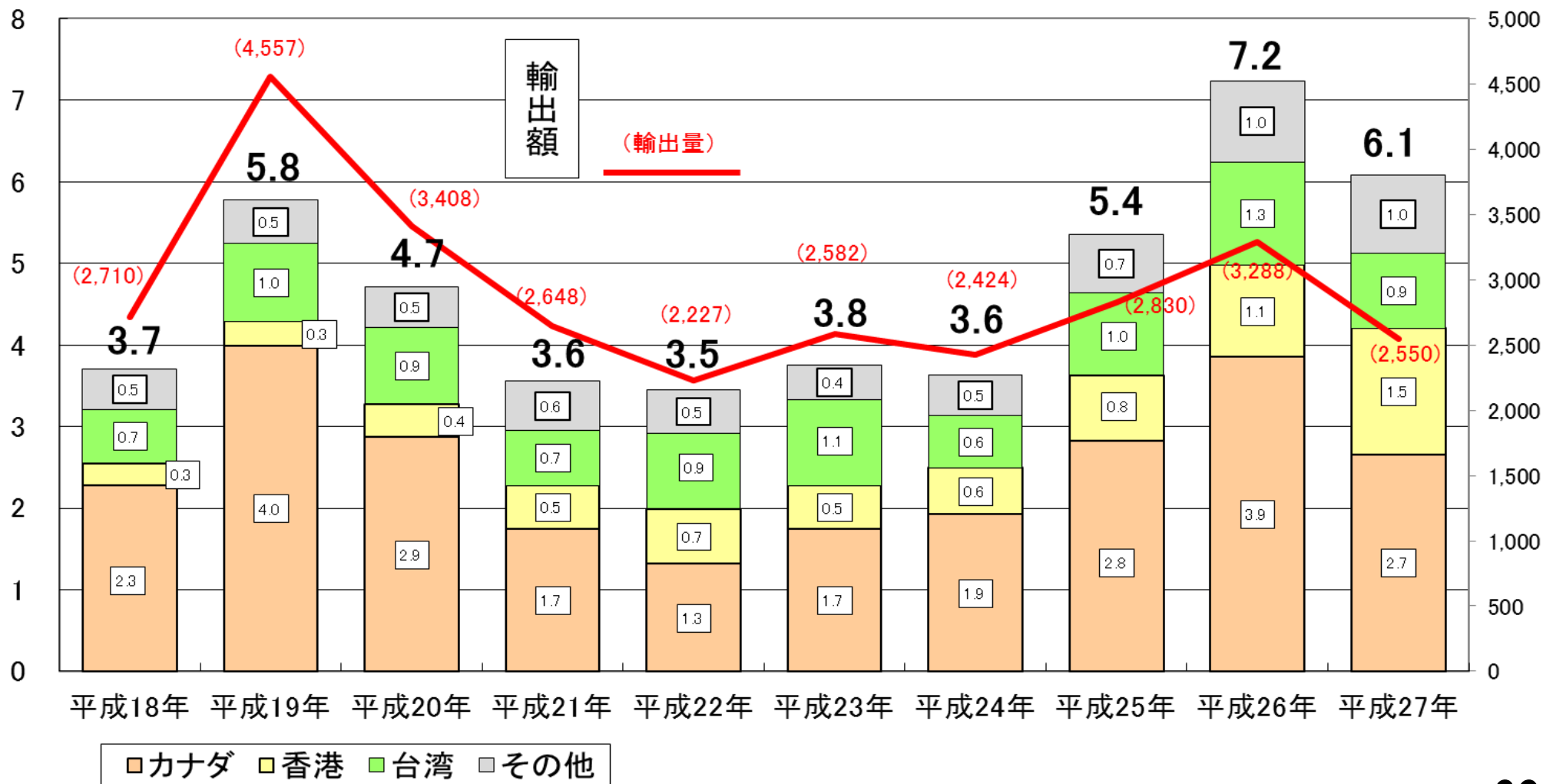
うんしゅうみかんの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- うんしゅうみかんの輸出額は、カナダ、香港、台湾向けが多い。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



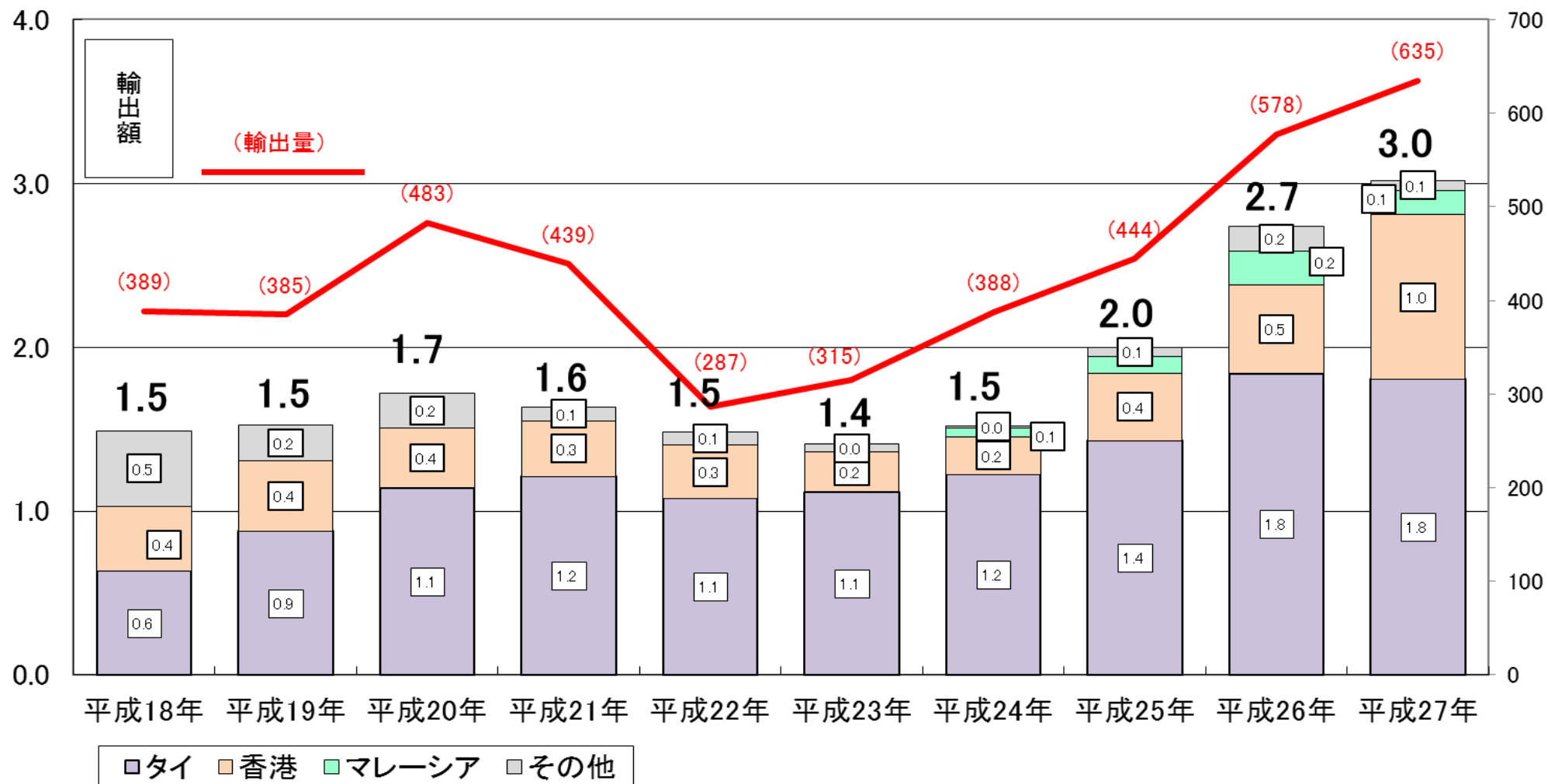
柿の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 柿の輸出額は、タイ、香港向けが多い。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



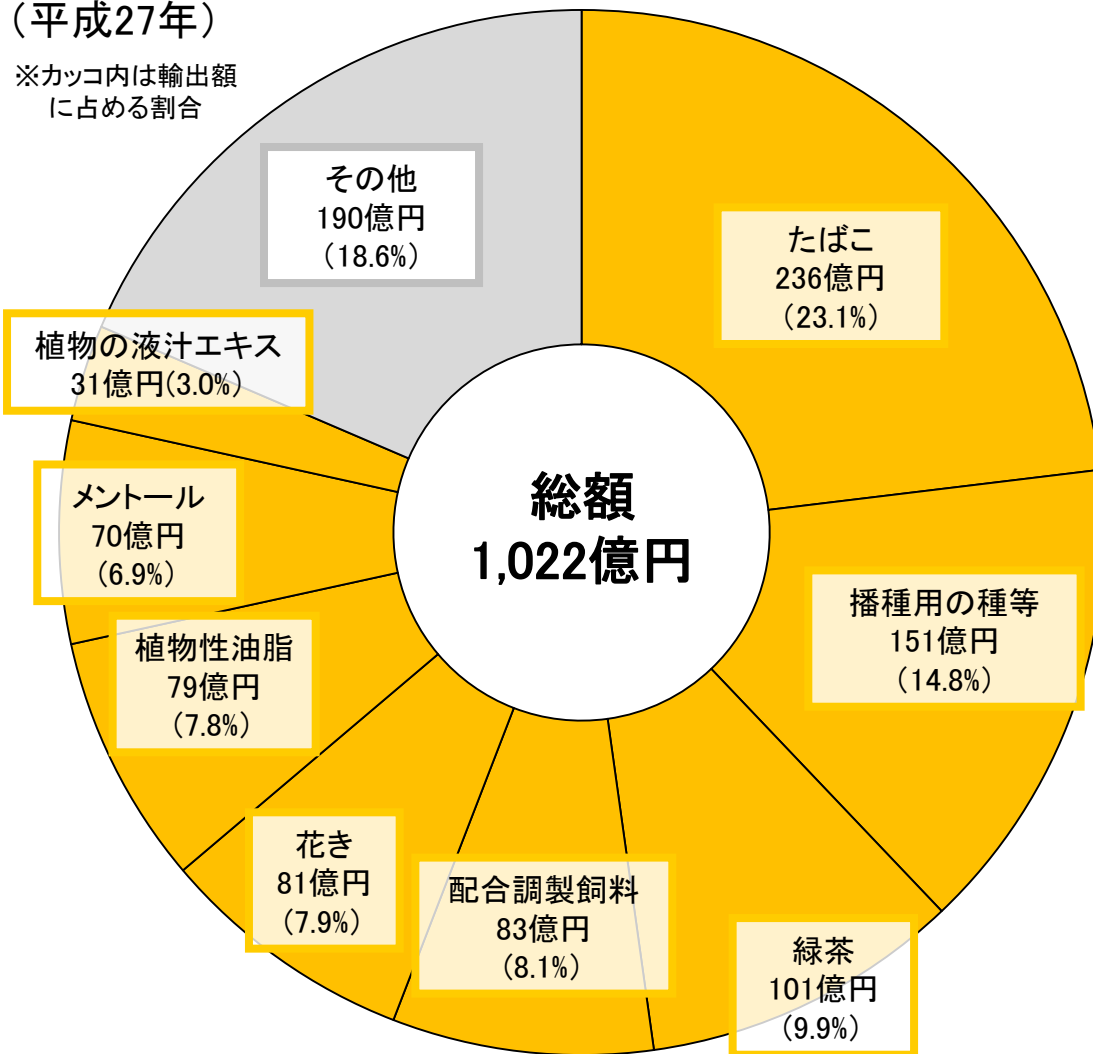
その他農産物の内訳

MAFF

- その他の農産物では、たばこ、播種用の種等、緑茶などの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成26年	平成27年	増減率
たばこ	194.6	235.9	21.2%
播種用の種等	128.2	151.4	18.1%
緑茶	78.0	101.1	29.6%
配合調製飼料	71.6	82.5	15.2%
花き	84.8	81.2	▲4.2%
植木等	81.4	76.1	▲6.5%
切花	3.4	5.1	50.4%
植物性油脂	68.8	79.3	15.2%
ごま油	46.6	54.9	17.7%
大豆油	0.8	3.5	336.1%
ひまし油	2.4	2.5	3.2%
菜種油・からし種油	2.7	2.4	▲10.9%
パーム油	0.5	0.4	▲23.6%
あまに油	0.2	0.1	▲53.5%
メントール	57.0	70.3	23.4%
植物の液汁エキス	25.4	30.6	20.6%
その他	136.1	189.6	39.3%
その他農産物計	844.5	1,021.9	21.0%

※「植物の液汁エキス」・・・用途は健康食品や化粧品など。

※「メントール」・・・ハッカから抽出される成分で、チューインガムや歯磨き等に使用。



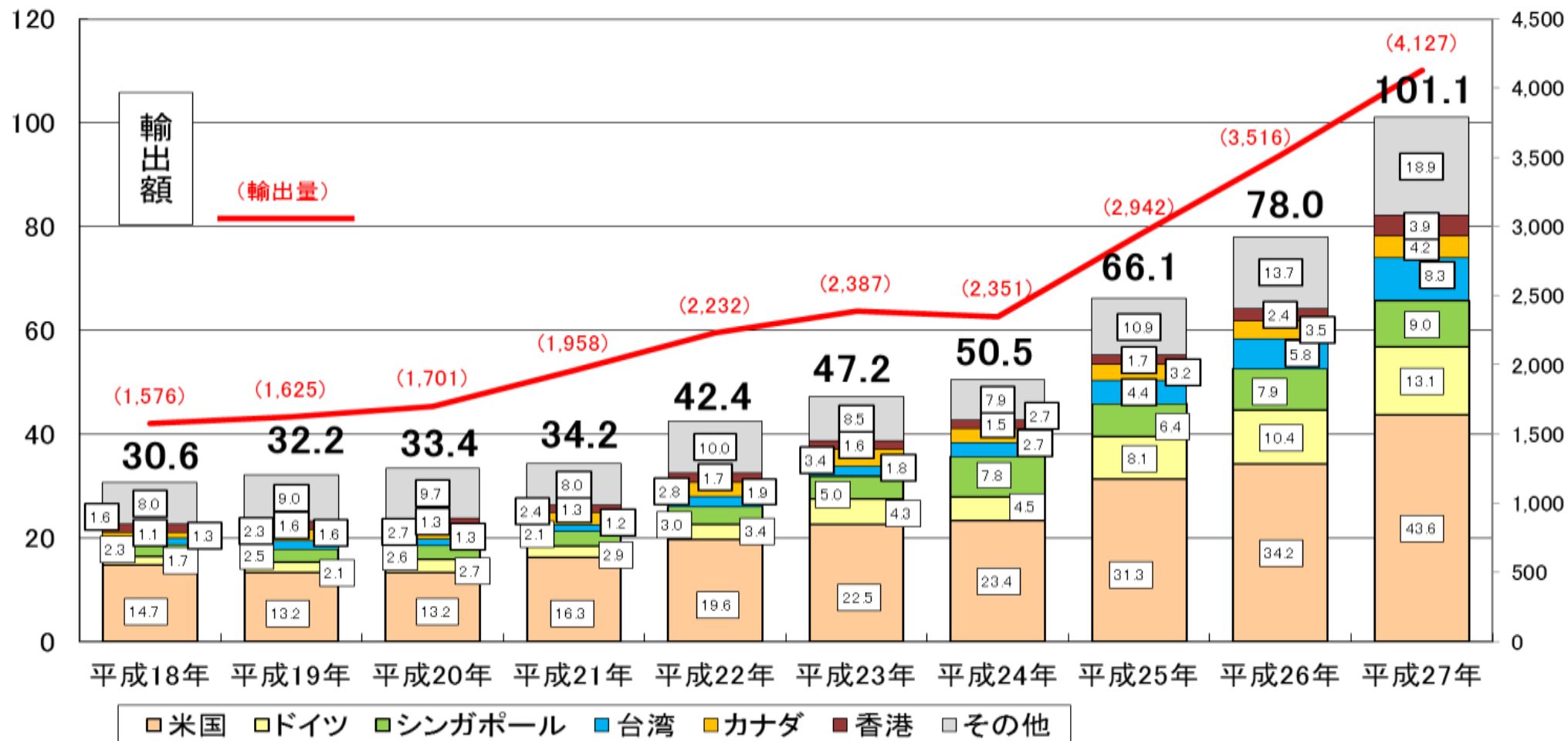
緑茶の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 緑茶の輸出額は、順調に増加しており、米国向けの輸出額が多い。
- 各国における健康志向の高まりにより、緑茶の効能が受け入れられていることや、飲用だけでなく料理やデザート等、加工向けに抹茶を用いる等、用途が広がっていることで、輸出が伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

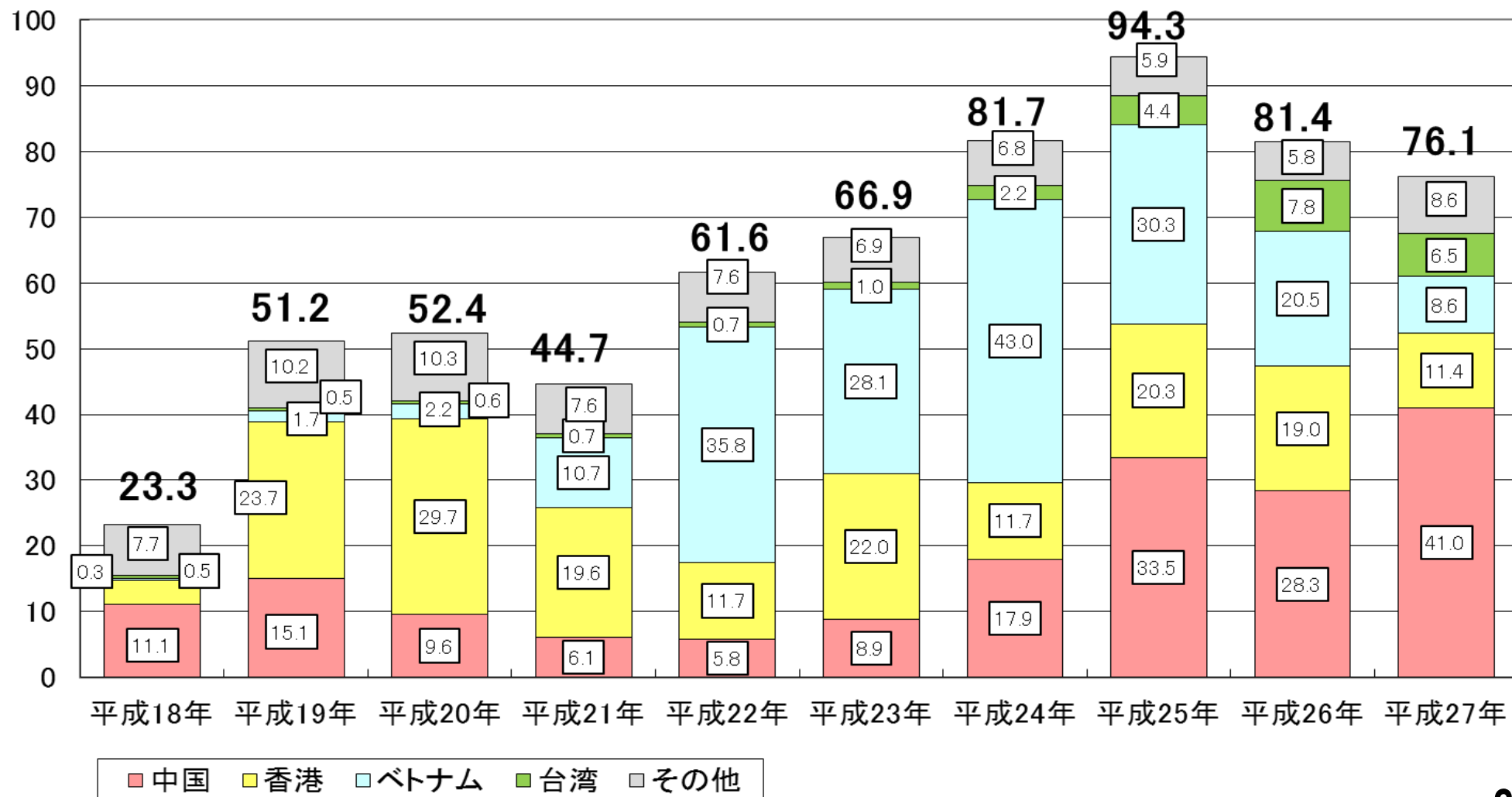


植木等の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 植木等(植木類、盆栽類、鉢物類)の輸出額は、平成25年まで増加傾向で推移していたものの、平成26年から減少。中国、香港、ベトナム、台湾向けで全体の約9割を占める。

(輸出額: 億円)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



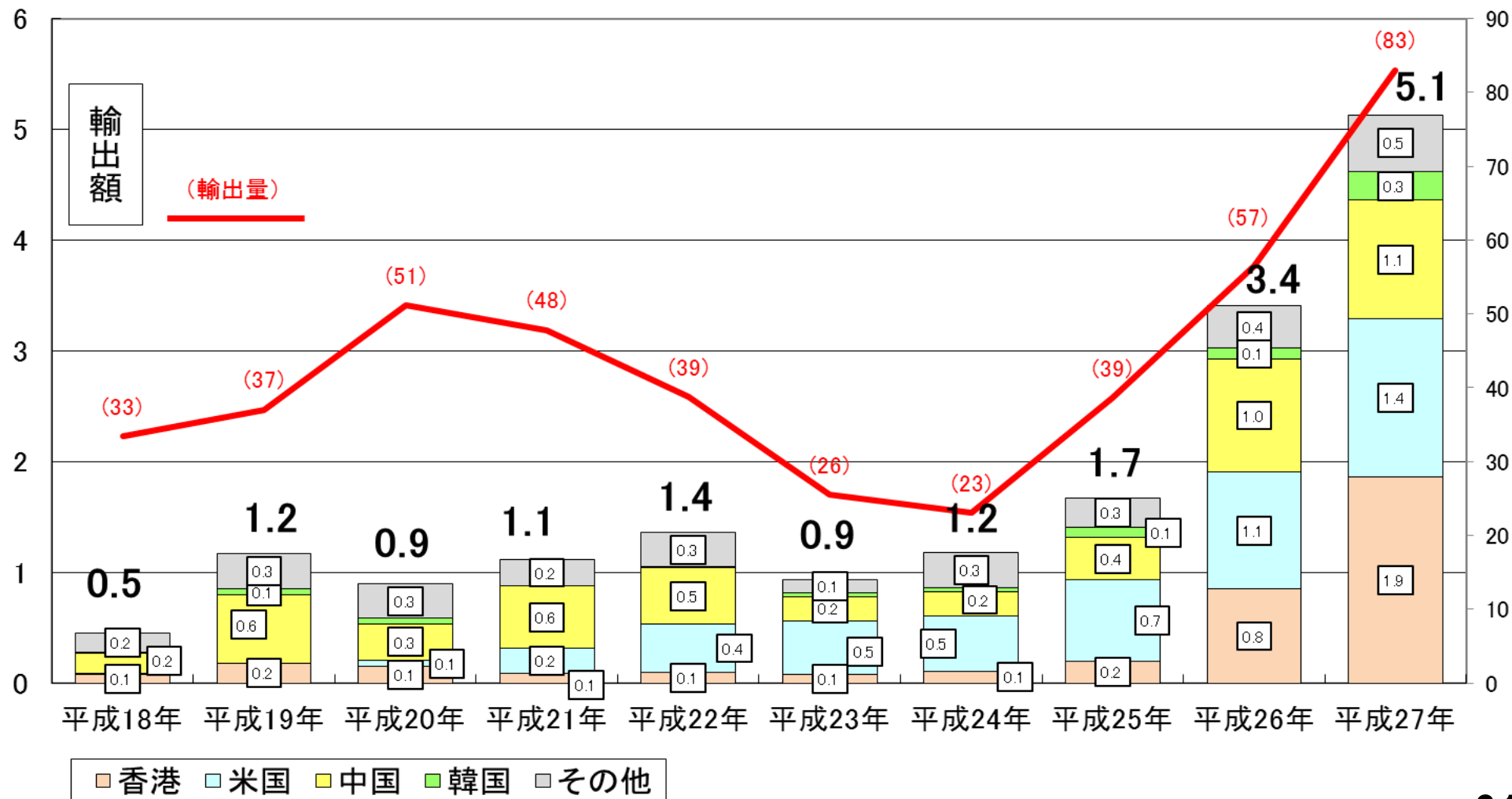
切花の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 切花の輸出額は、香港、米国、中国向けで全体の約9割を占める。近年増加傾向にある中、平成26年から大きく伸び、平成27年には過去最高を記録。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)

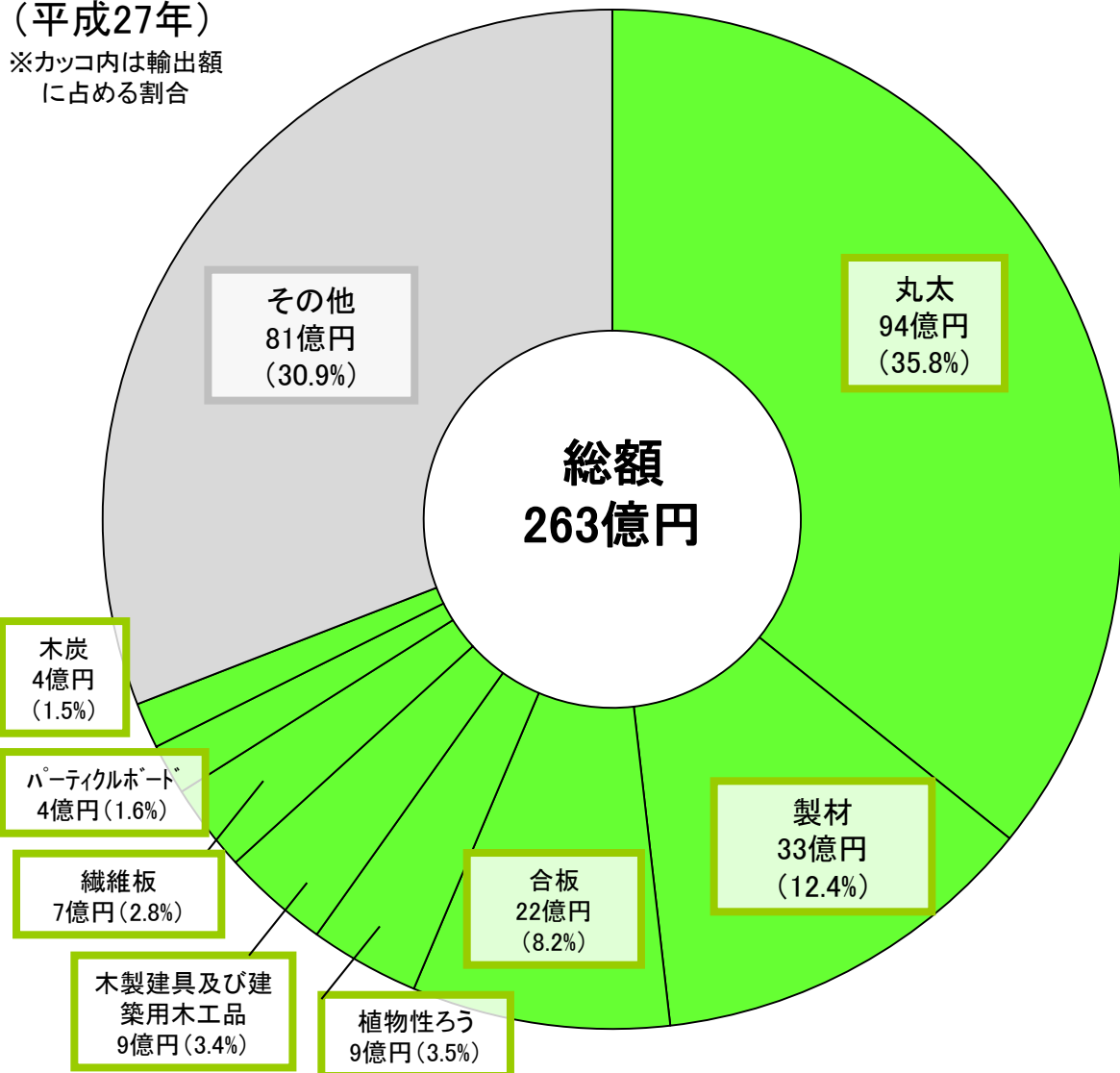


資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



●林産物の品目別内訳をみると、丸太及び製材の割合が多い。

(平成27年)
※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成26年	平成27年	増減率
丸太	68.9	94.2	36.6%
製材	31.9	32.7	2.3%
合板	4.6	21.5	366.5%
植物性ろう	9.0	9.2	1.5%
木製建具及び建築用木工品	11.6	8.9	▲23.0%
繊維板	6.0	7.3	21.1%
パーティクルボード	3.0	4.2	40.8%
木炭	2.9	3.8	31.7%
その他	72.9	81.4	11.5%
林産物計	211.0	263.2	24.7%

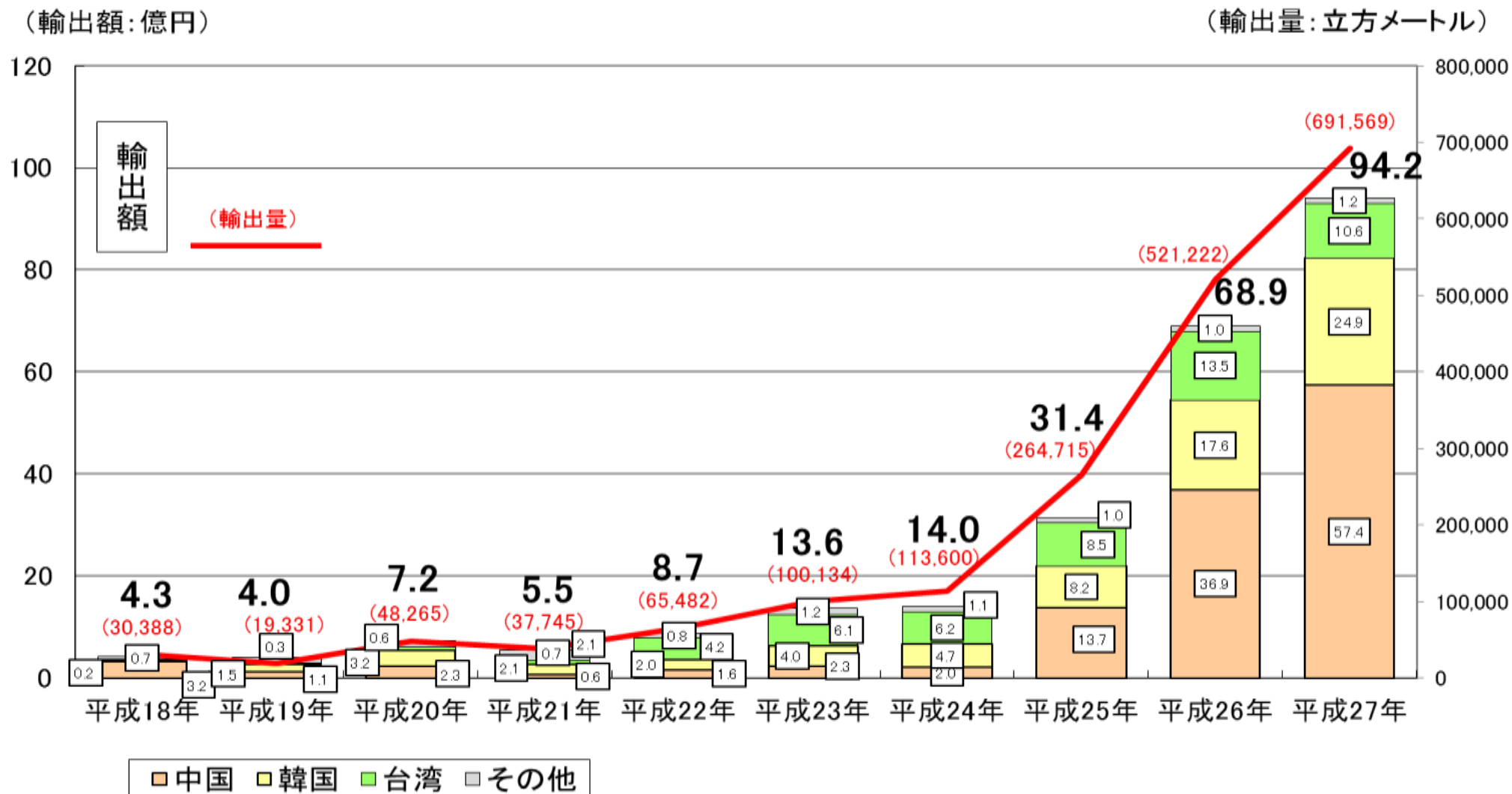
※「植物性ろう」: 用途は、化粧品の材料など。
※「繊維板」: 木材・竹・わら・パルプなどの植物繊維を圧縮成形して作った板。用途は、断熱・吸音材、壁パネル・外装など。
※「パーティクルボード」: 木材の小削片を主原料として板状に成型した建材。用途は、プレハブ住宅などの床・壁・屋根下地など。
※「木炭」: 用途は、お香専用炭(いわゆる香炭団(こうたどん))など。



丸太の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 近年、中国での梱包材用、韓国での住宅建材用に需要が高まり、輸出が大きく増加。



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



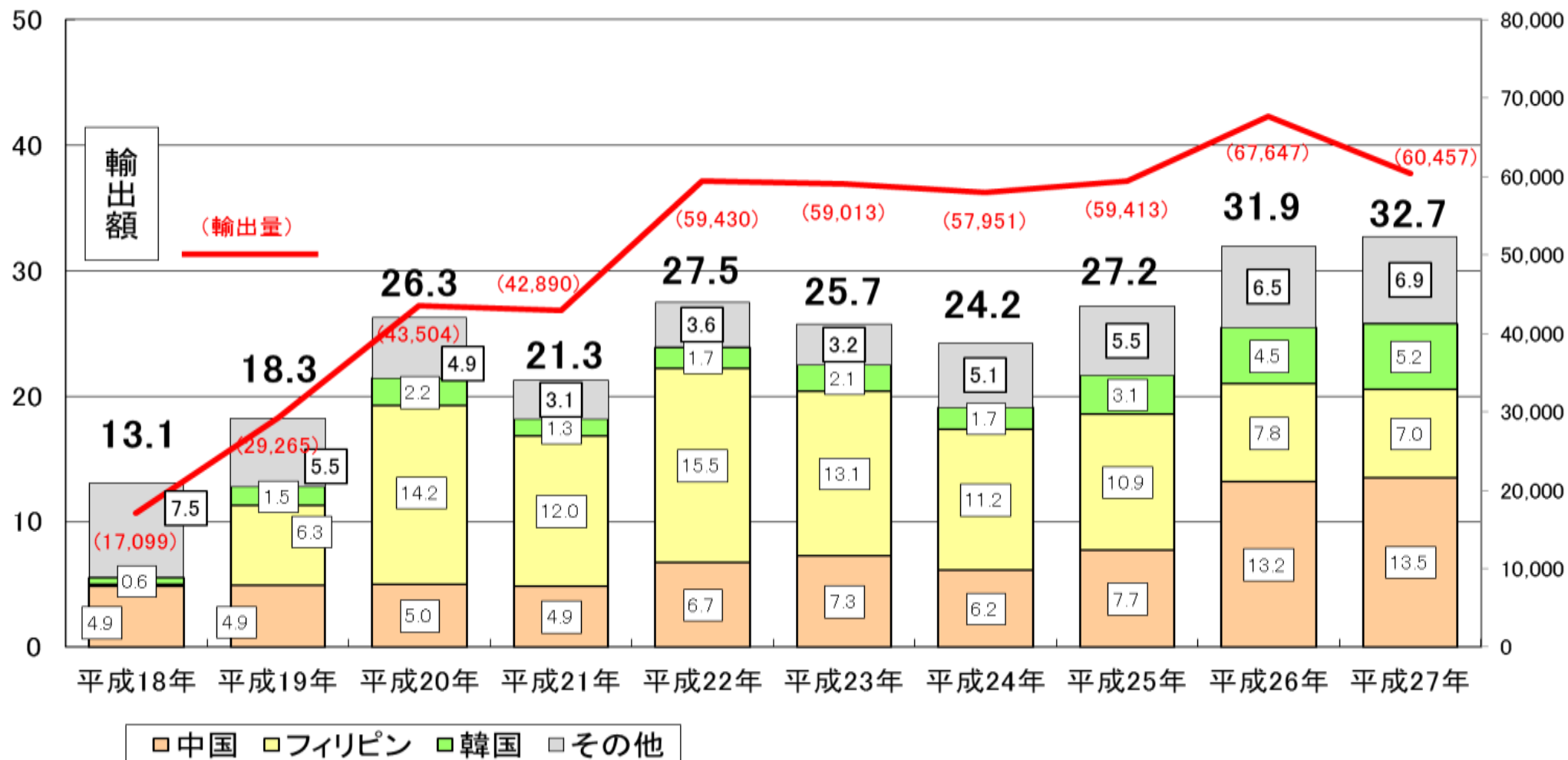
製材の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 製材は、中国、フィリピン、韓国向けで輸出額計の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: 立方メートル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



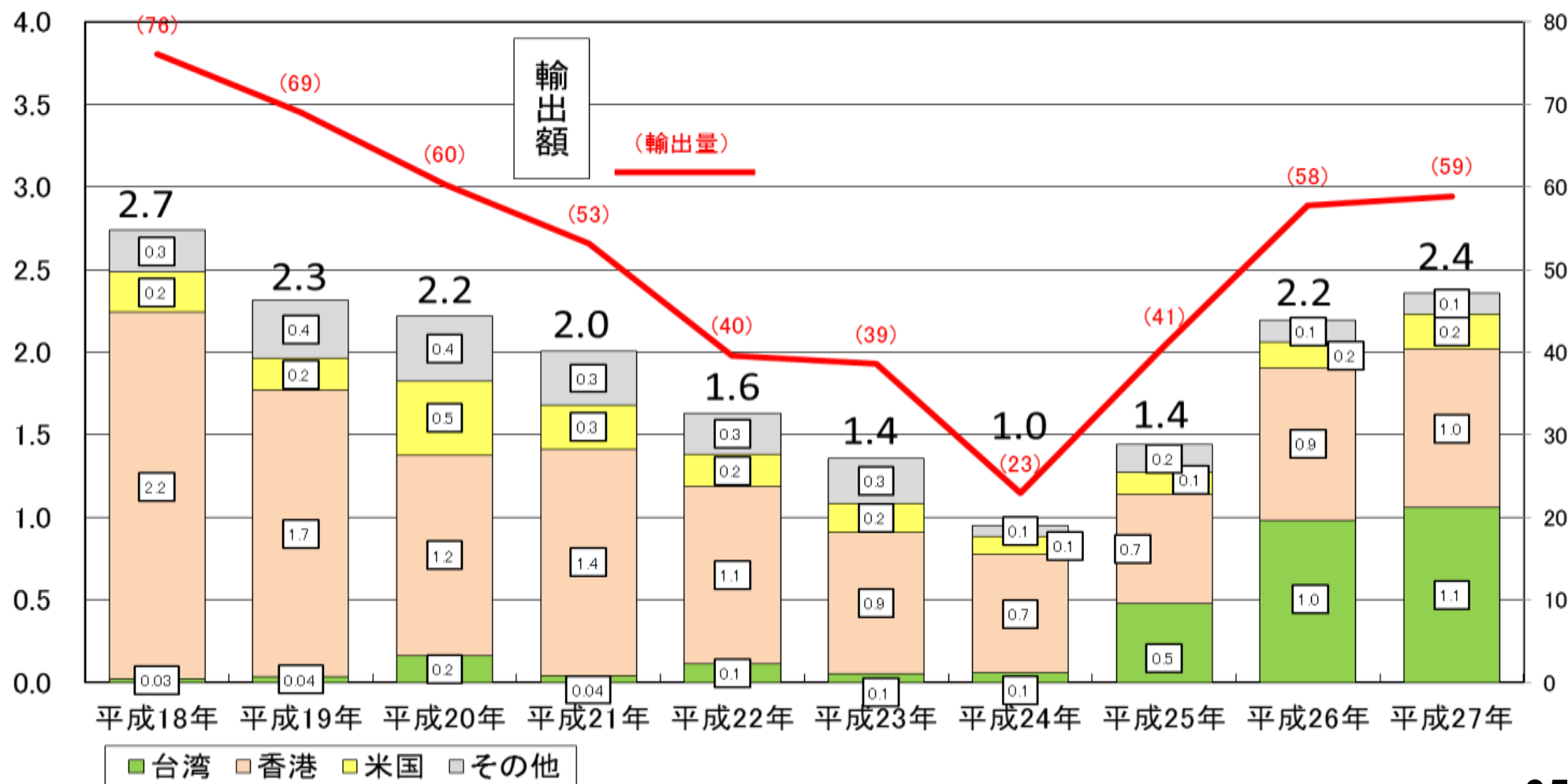
乾しいたけの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 乾しいたけの輸出額は、平成25年から増加に転じ、特に台湾向けが大きく伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



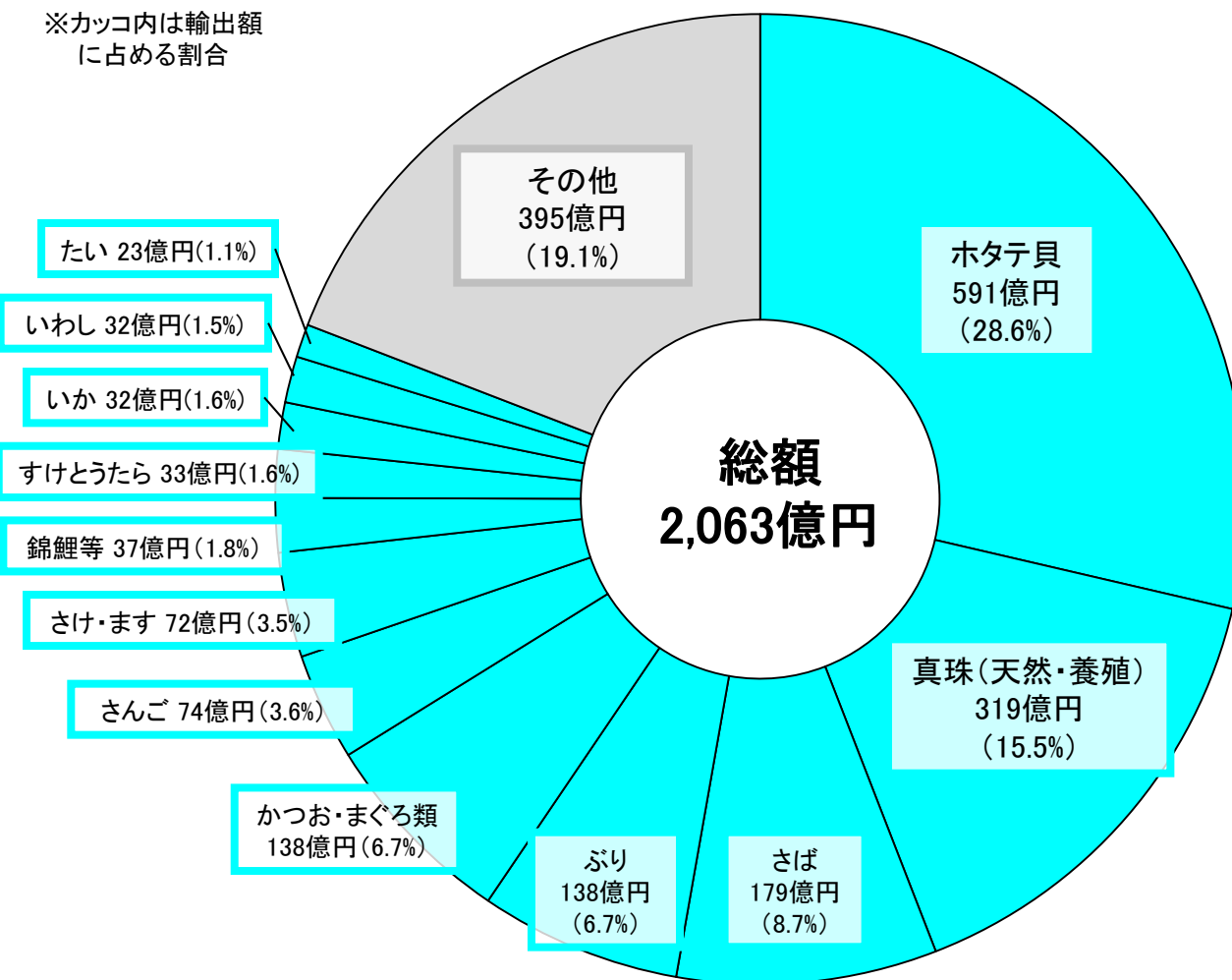
水産物(水産調製品以外)の内訳

MAFF

●水産物(水産調製品以外)の品目別内訳をみると、ホタテ貝、真珠(天然・養殖)、さば、ぶりなどの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成26年	平成27年	増減率
ホタテ貝	446.7	590.8	32.3%
真珠(天然・養殖)	245.4	319.0	30.0%
さば	115.1	179.0	55.4%
ぶり	100.1	138.4	38.2%
かつお・まぐろ類	157.8	137.8	▲12.7%
さんご	57.2	73.8	29.1%
さけ・ます	114.4	72.1	▲37.0%
錦鯉等	33.1	37.3	12.8%
すけとうたら	46.1	33.2	▲28.0%
いか	33.9	32.0	▲5.5%
いわし	13.3	31.8	138.2%
たい	17.2	22.8	32.0%
その他	333.8	395.1	18.3%
水産物(水産調製品以外)計	1714.3	2063.1	20.3%



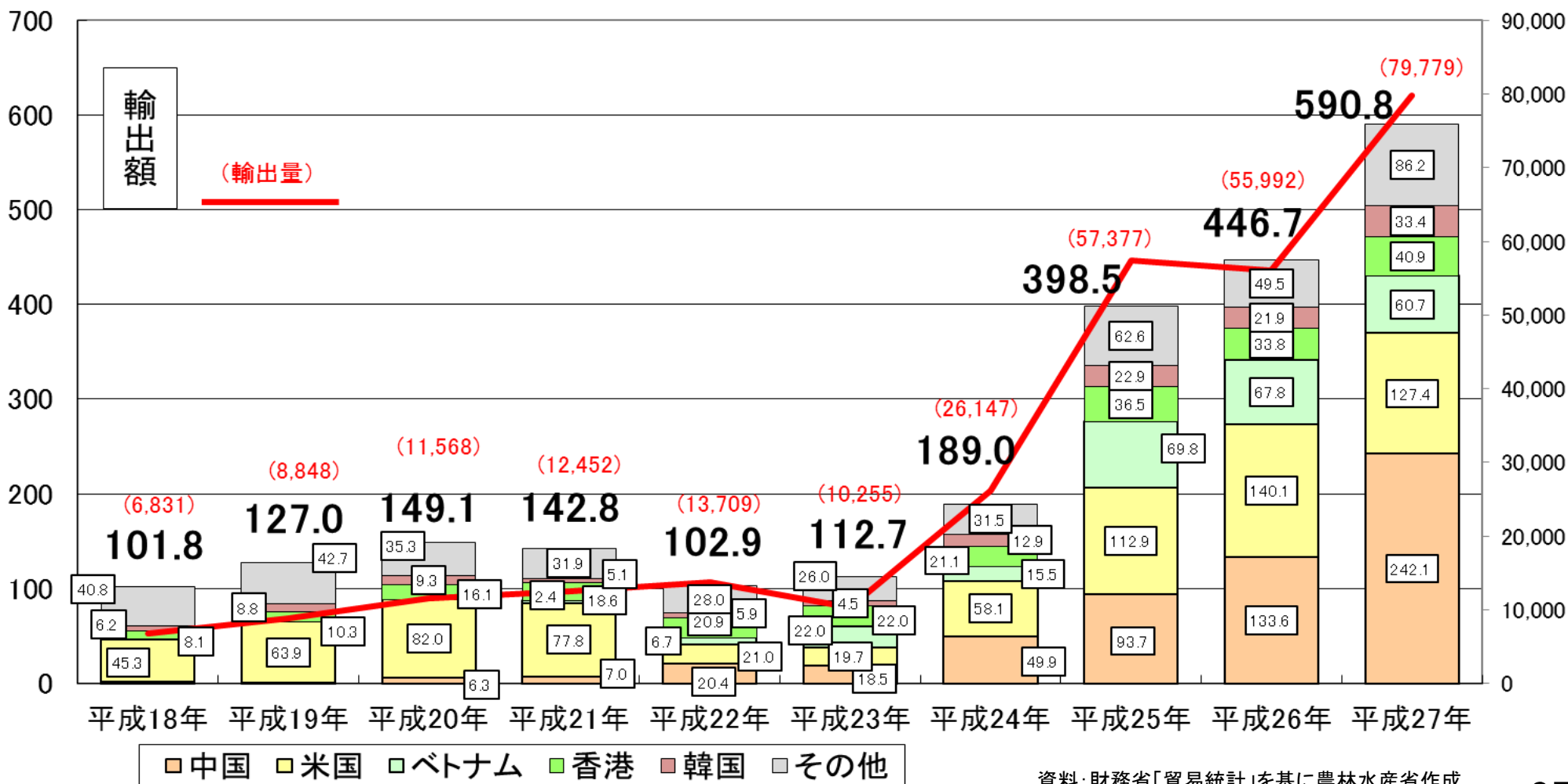
ホタテ貝の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ホタテ貝は、我が国の主力輸出産品。
- 近年、輸出が顕著に増加し、中国、米国、ベトナム、香港向けに全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



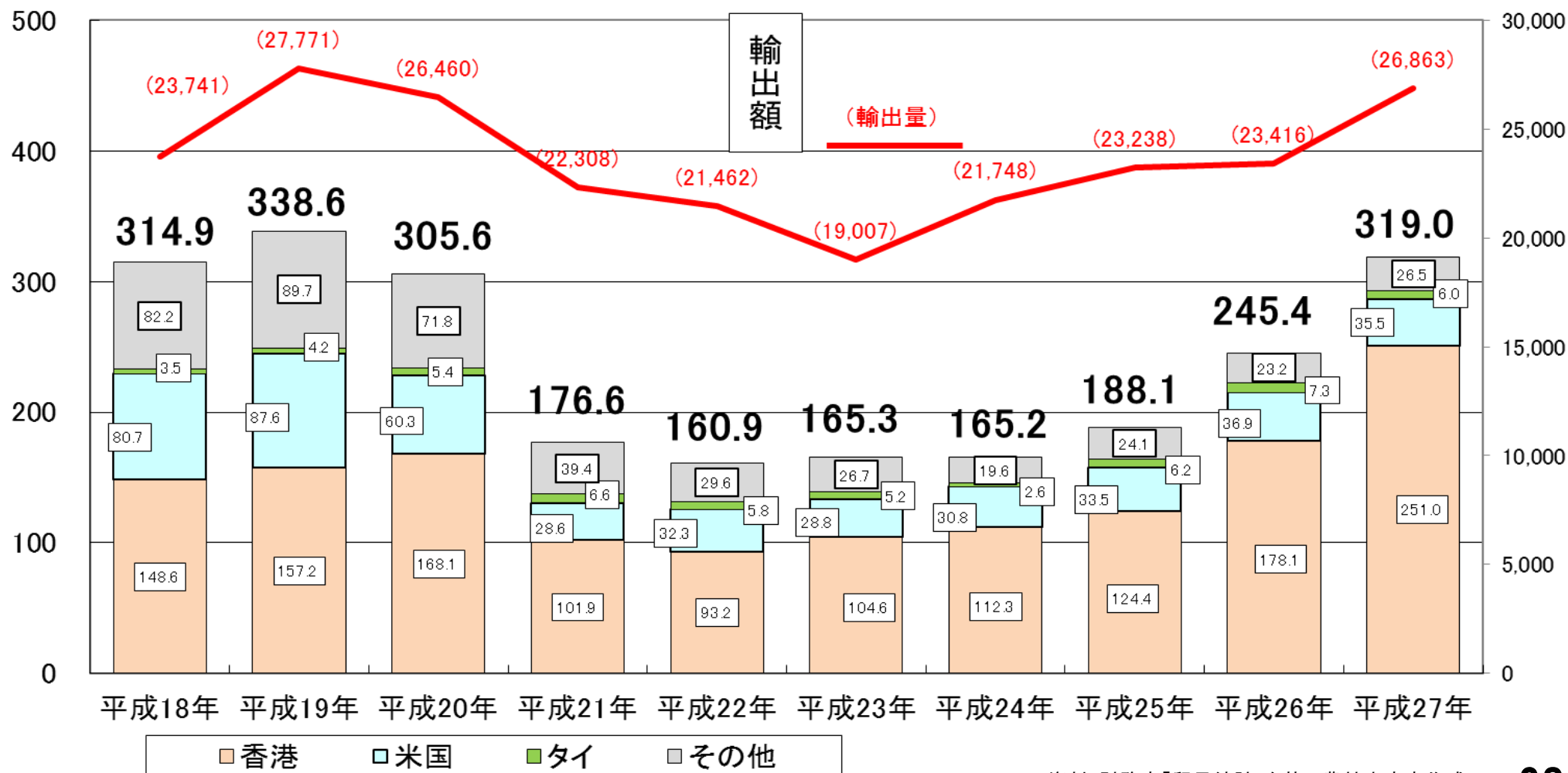
真珠(天然・養殖)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 真珠は、主に香港向けの輸出が大半を占め、輸出は増加している。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キログラム)



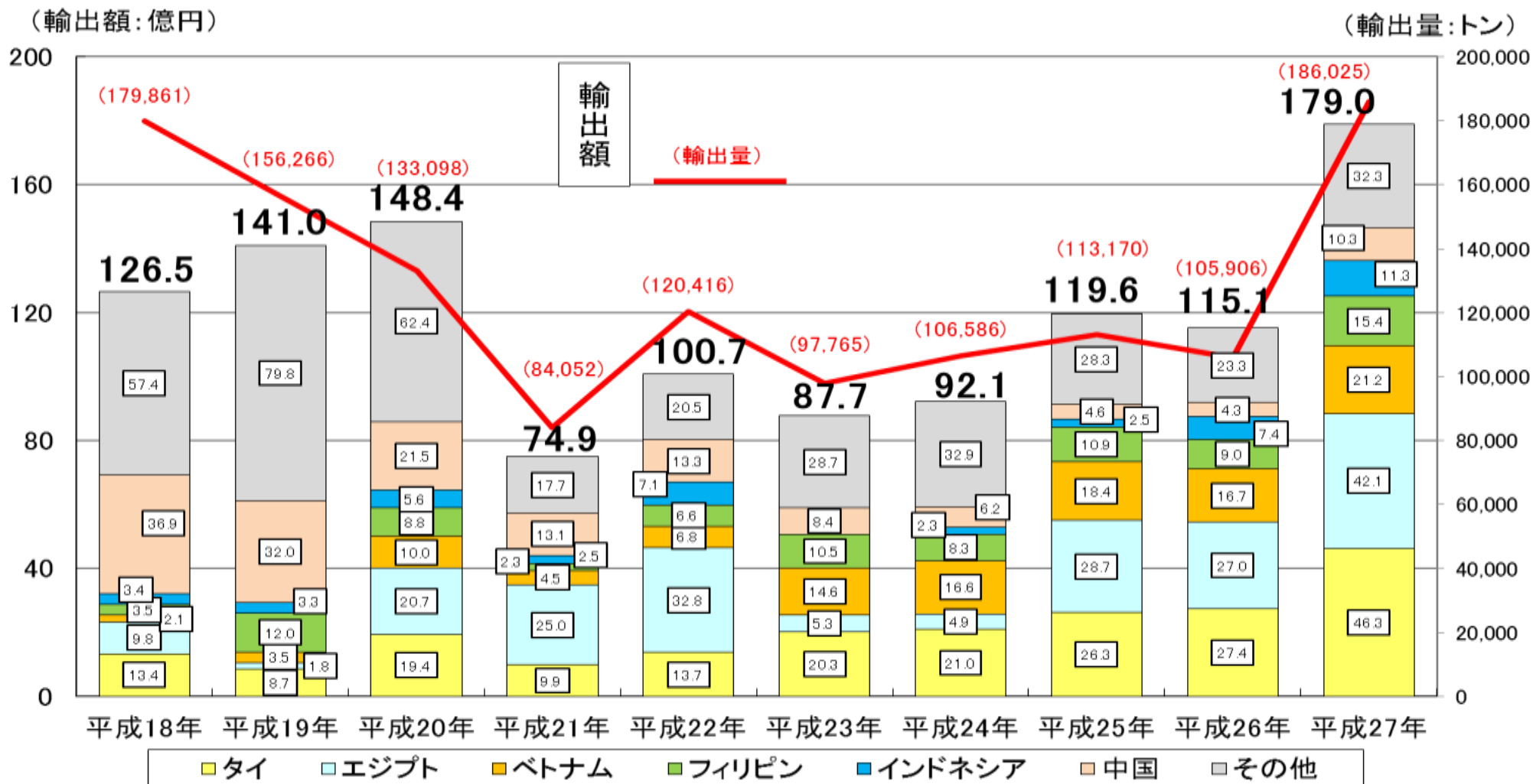
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



さばの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- さばは、加工用を中心にタイ、ベトナム、フィリピンなど東南アジア向けの輸出の他、エジプトやガーナなどアフリカ向けにも輸出されている。



※輸出額は、平成22年までは冷蔵及び冷凍品の計。平成23年からは生鮮、冷蔵及び冷凍品の計
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



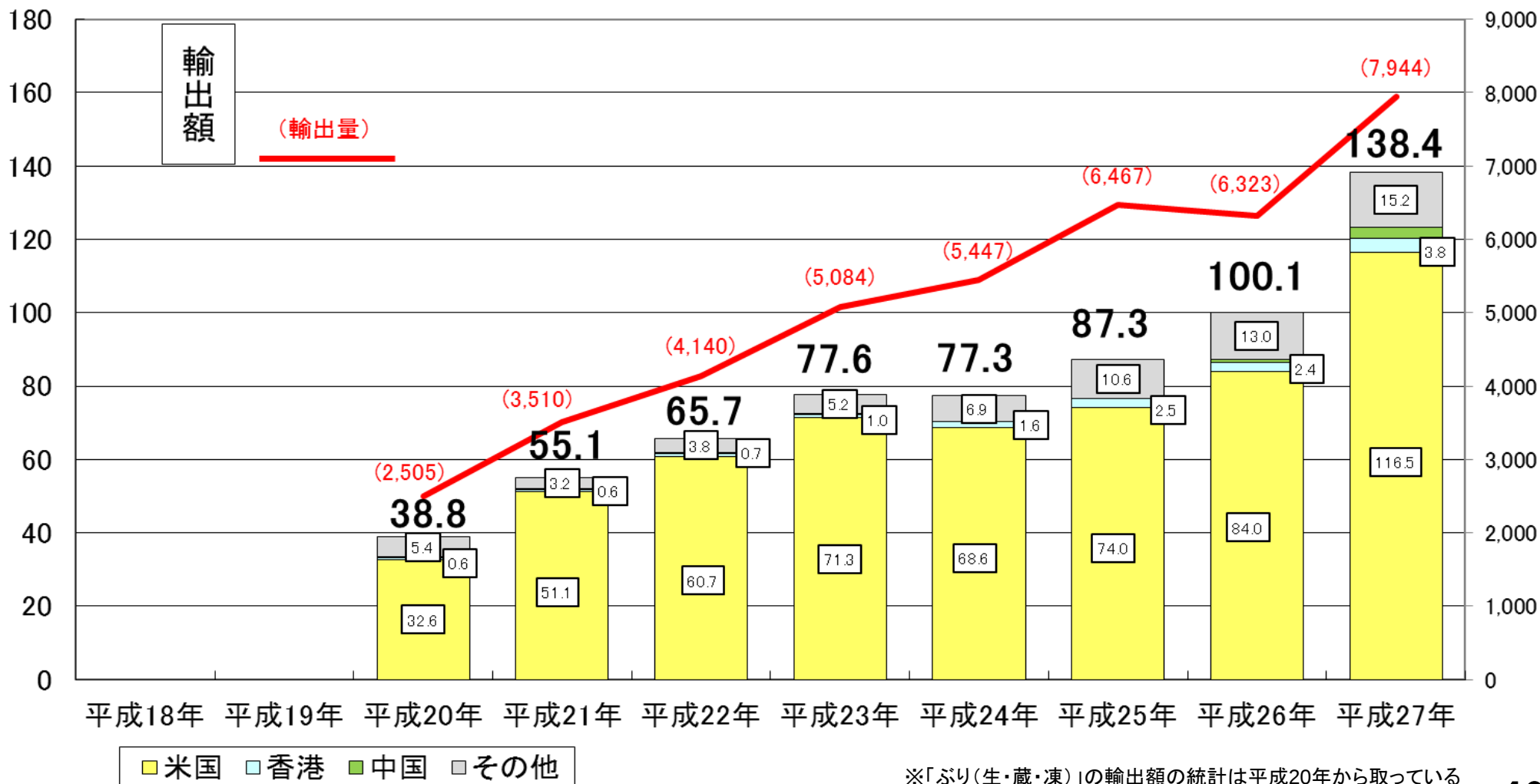
ぶりの輸出額・輸出货量及び輸出先国の推移

MAFF

- ぶりの輸出額は、米国向けを中心に順調に増加。

(輸出額: 億円)

(輸出货量: トン)



※「ぶり(生・蔵・凍)」の輸出額の統計は平成20年から取っている
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



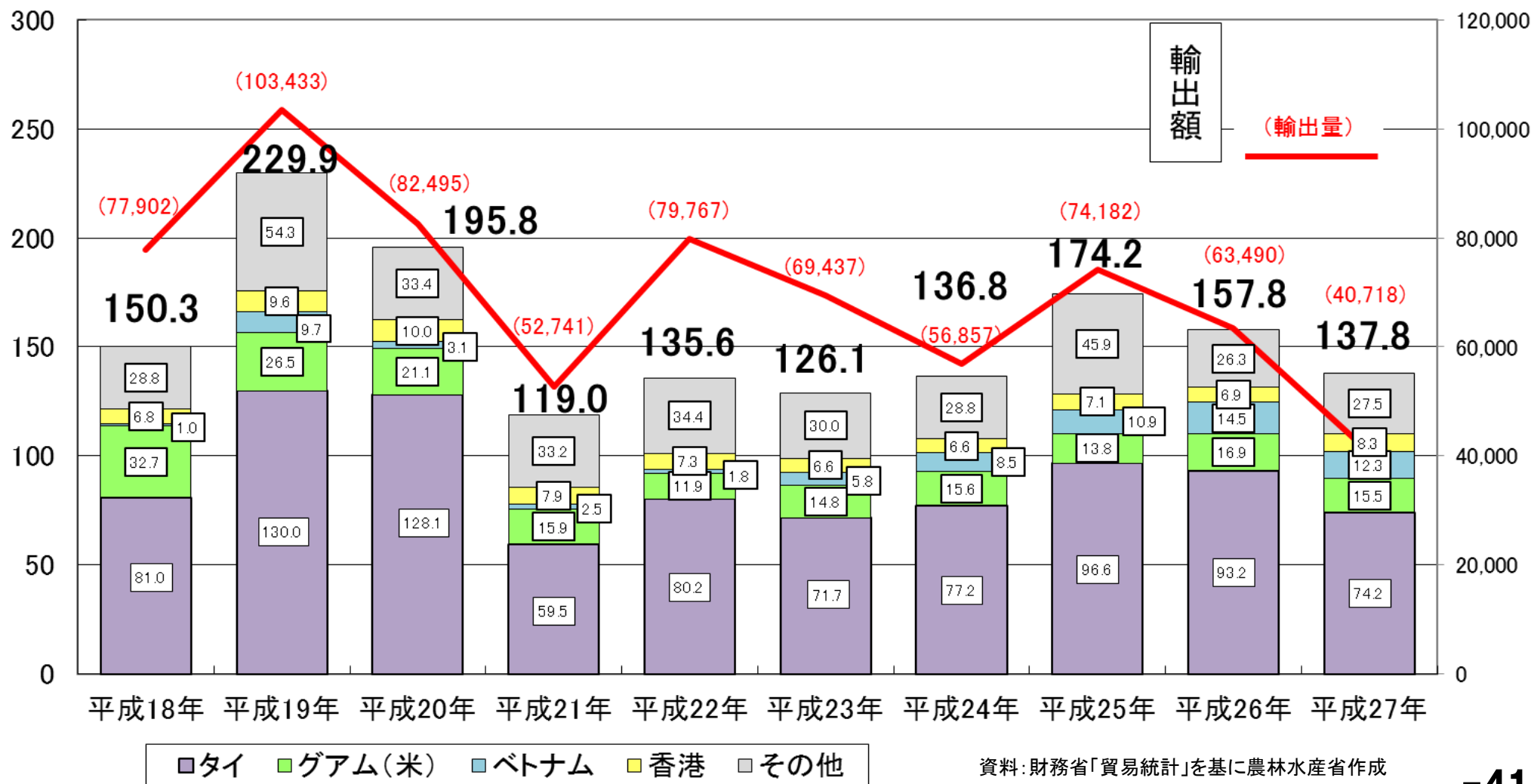
かつお・まぐろ類の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

● かつお・まぐろ類は、近年、水揚量の減少や日本国内向け需要の逼迫により、輸出は減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)





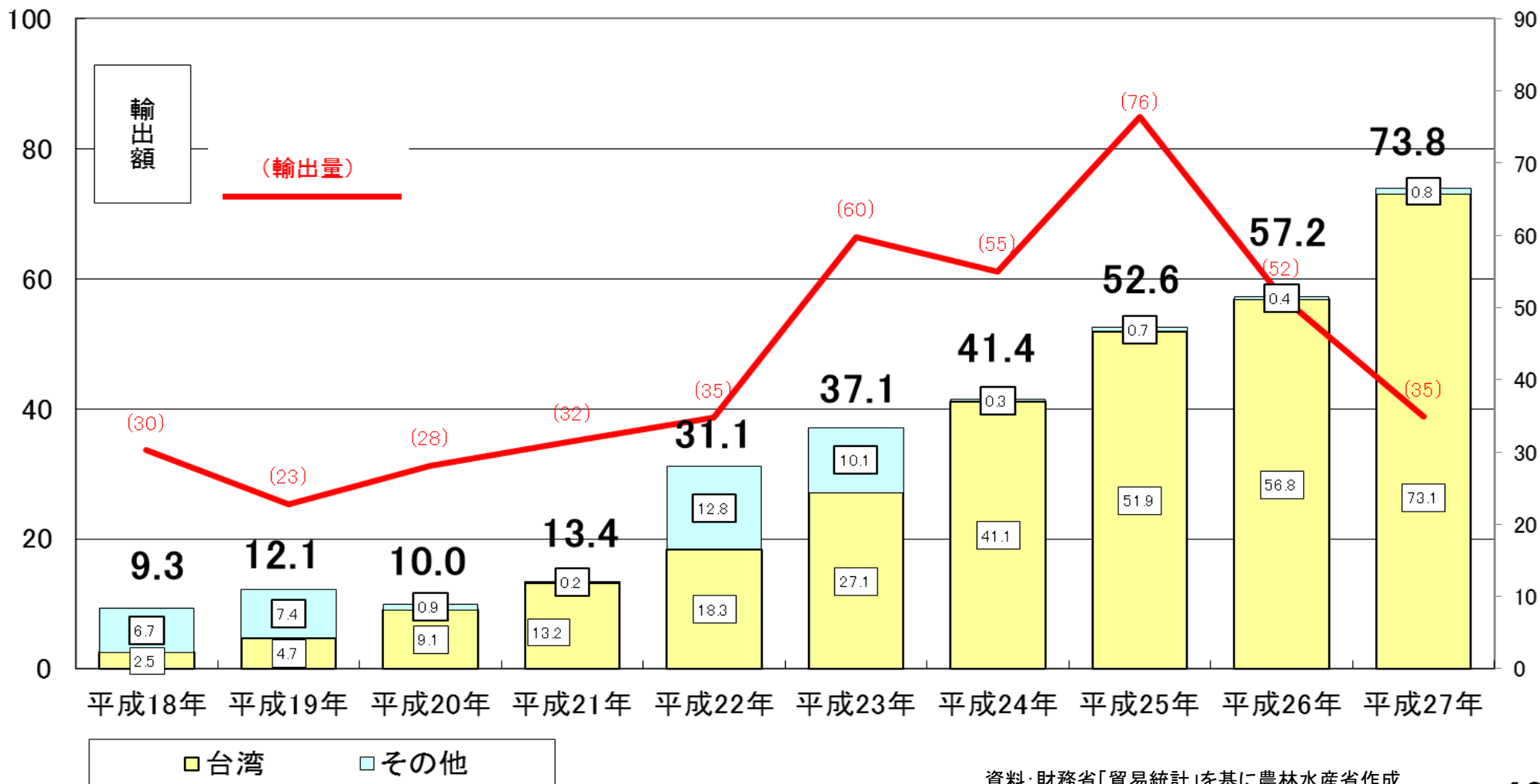
さんごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

● さんごは、台湾向けが大半で、近年、輸出額は堅調に伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



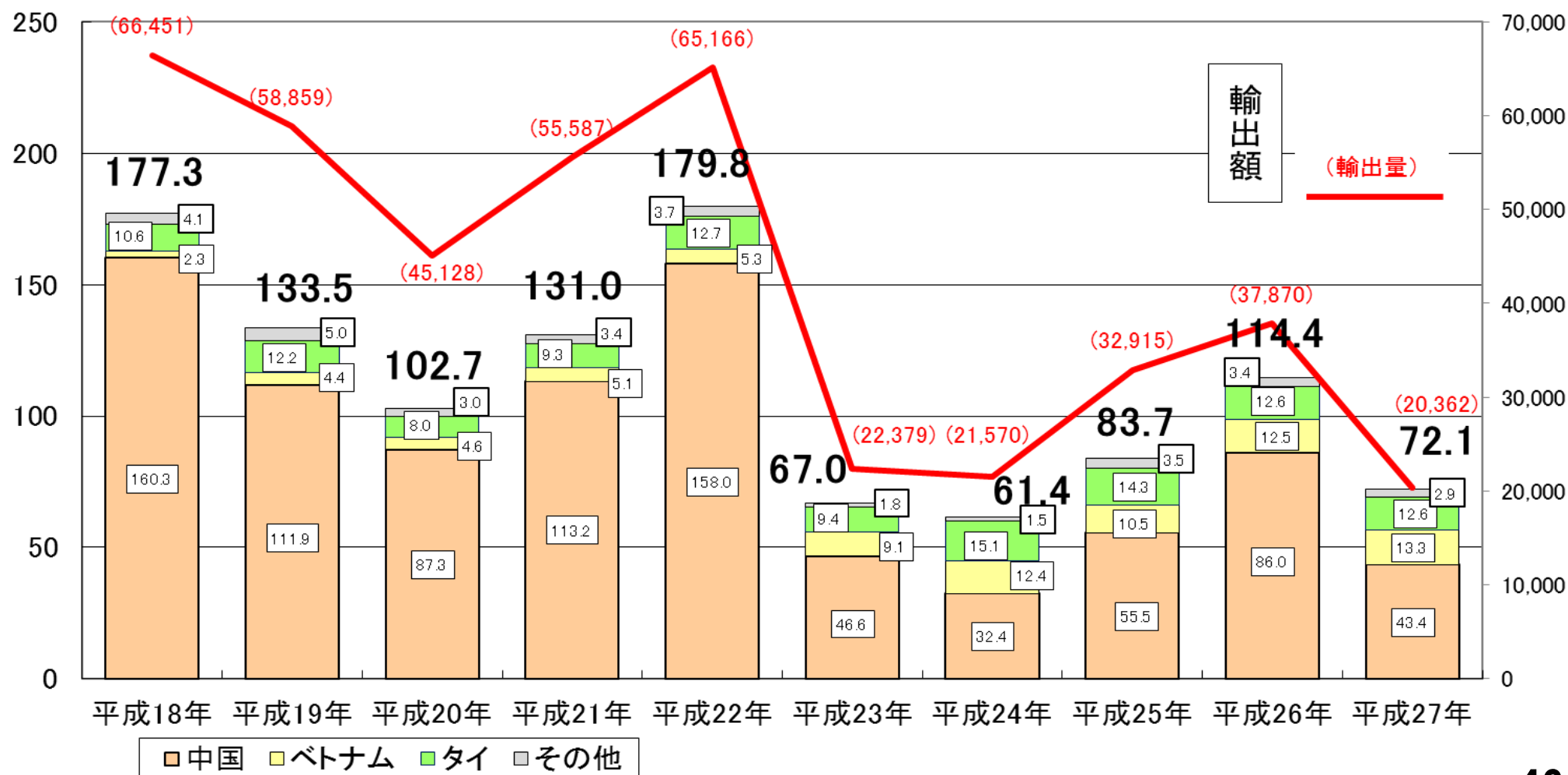
さけ・ますの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

● さけ・ますは、中国、ベトナム、タイ向けが大半。輸出額は漁獲動向等の影響を受けて、大きく増減。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



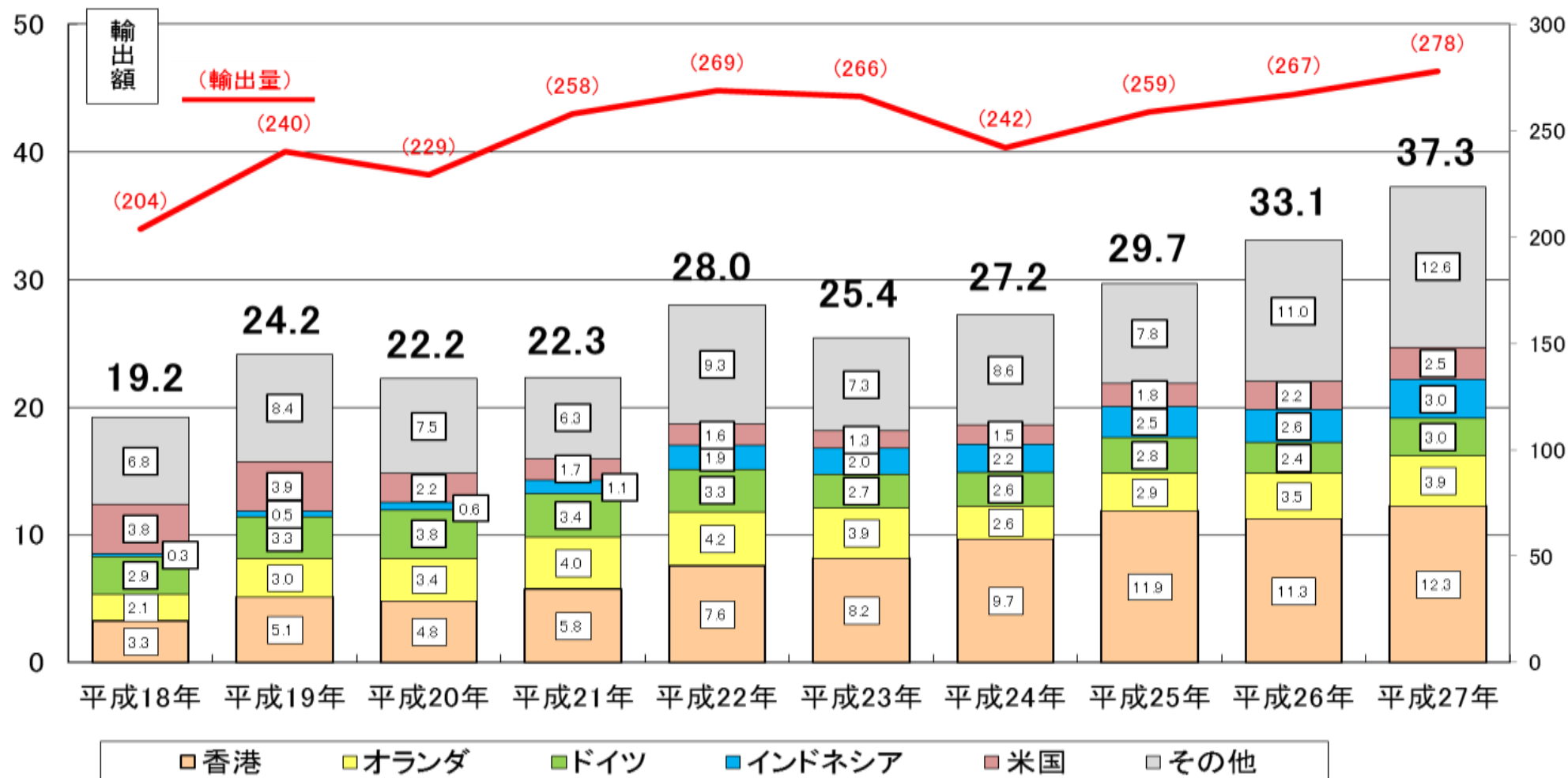
錦鯉等観賞用魚の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 錦鯉等の鑑賞用魚は、欧米やアジアの富裕層を中心に増加傾向。
- 盆栽と並んで、日本文化の象徴として楽しまれている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



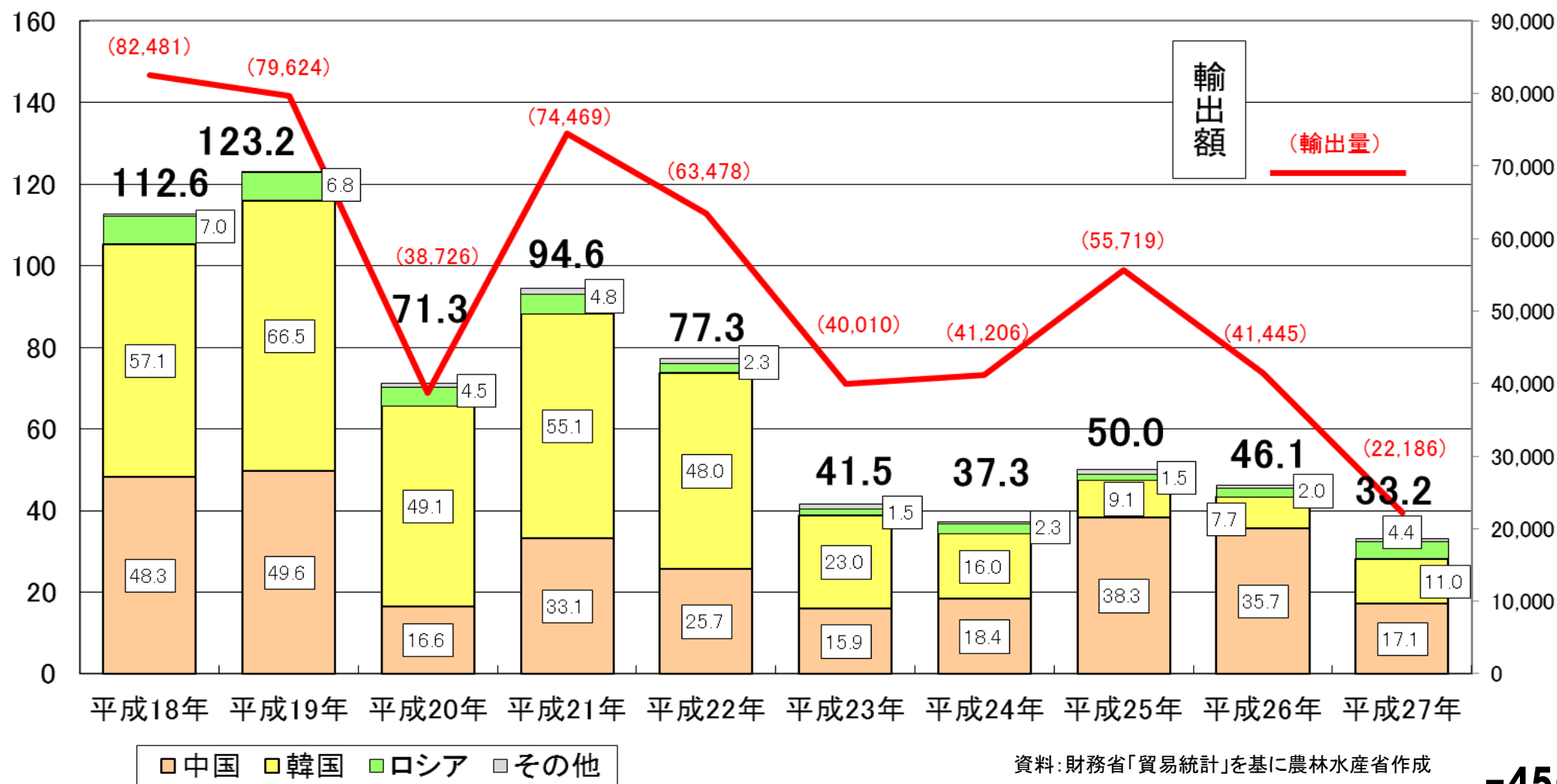
すけとうたらの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- すけとうたらの輸出は、中国、韓国向けが大半。東日本大震災等の影響により、輸出額が大きく減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)





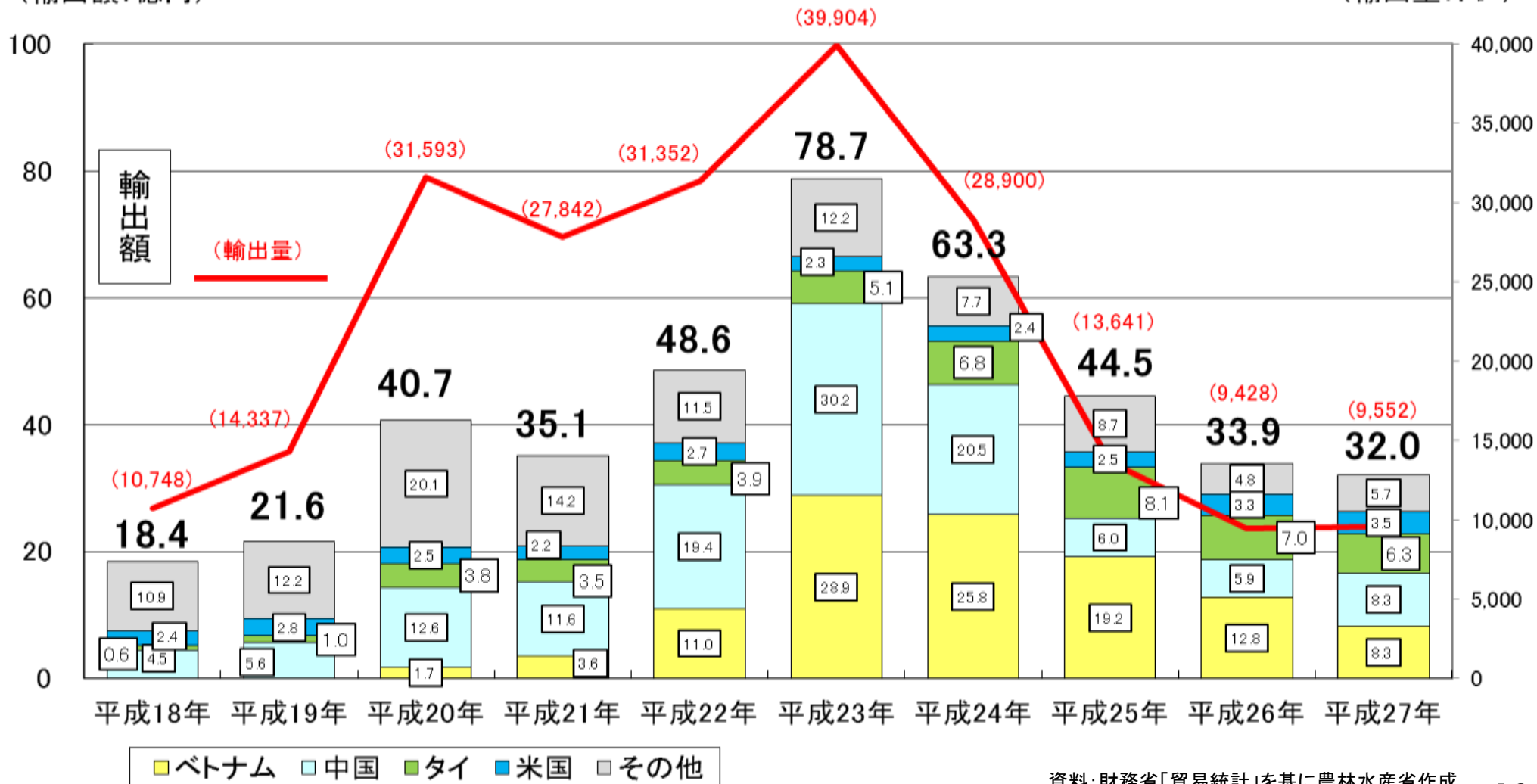
いかの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- いかの輸出額は近年減少傾向。
- 主に加工原料用としてベトナム、中国、タイ向けに輸出。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



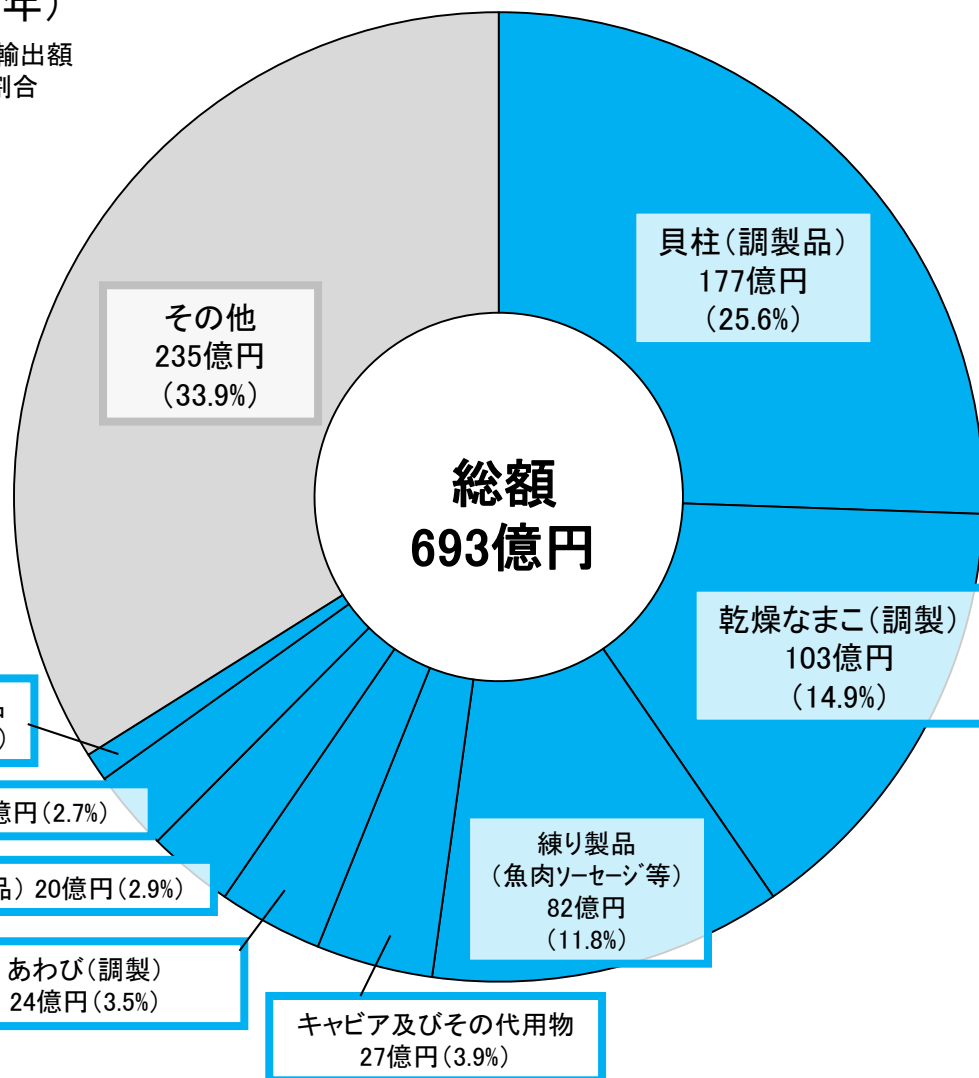
水産調製品の内訳

MAFF

●水産調製品の品目別内訳をみると、貝柱、乾燥なまこ、練り製品などの割合が多い。

(平成27年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位:億円)

品目名	平成26年	平成27年	増減率
貝柱(調製品)	145.3	177.2	22.0%
乾燥なまこ(調製)	103.8	103.1	▲0.7%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	69.6	81.7	17.3%
キャビア及びその代用物	23.5	27.0	15.0%
あわび(調製)	20.4	24.1	18.4%
真珠(製品)	14.4	19.9	38.6%
魚等缶詰	23.4	18.6	▲20.2%
かに調製品	7.1	6.6	▲7.3%
その他	215.1	235.2	9.4%
水産調製品	622.5	693.5	11.4%

※「貝柱(調製品)」は、平成24年の品目コード新設により、HS160559100
及びHS160552000を合計したもの

※「キャビア及びその代用物」:いくら、たらこなど

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



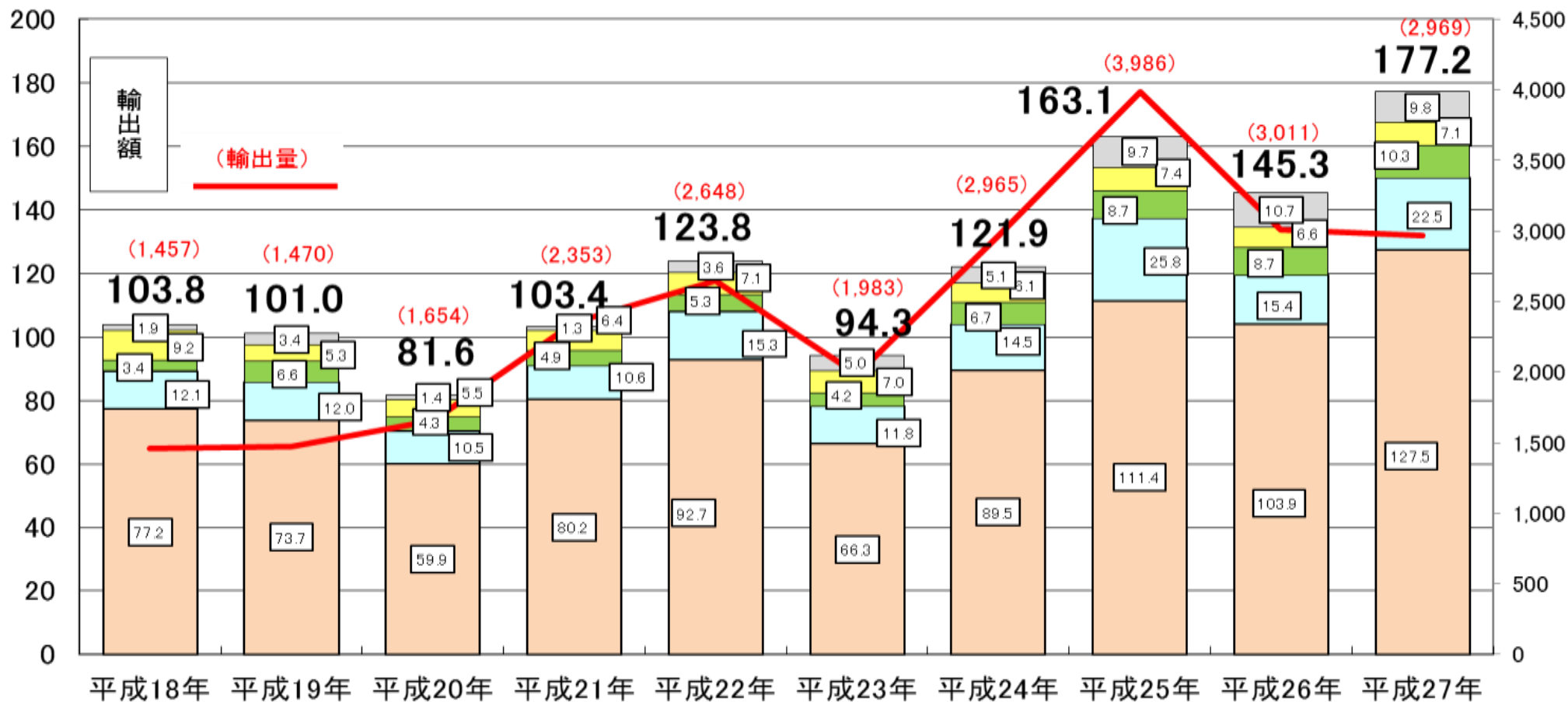
貝柱(調製品)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ホタテ貝の干し貝柱が中心であるとみられ、中華料理の食材として使われている。
- ほとんどが香港や台湾に輸出されている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



■ 香港 ■ 台湾 ■ シンガポール ■ 米国 ■ その他

※平成24年以降の輸出額は、HS160559100及びHS160552000を合計したもの

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



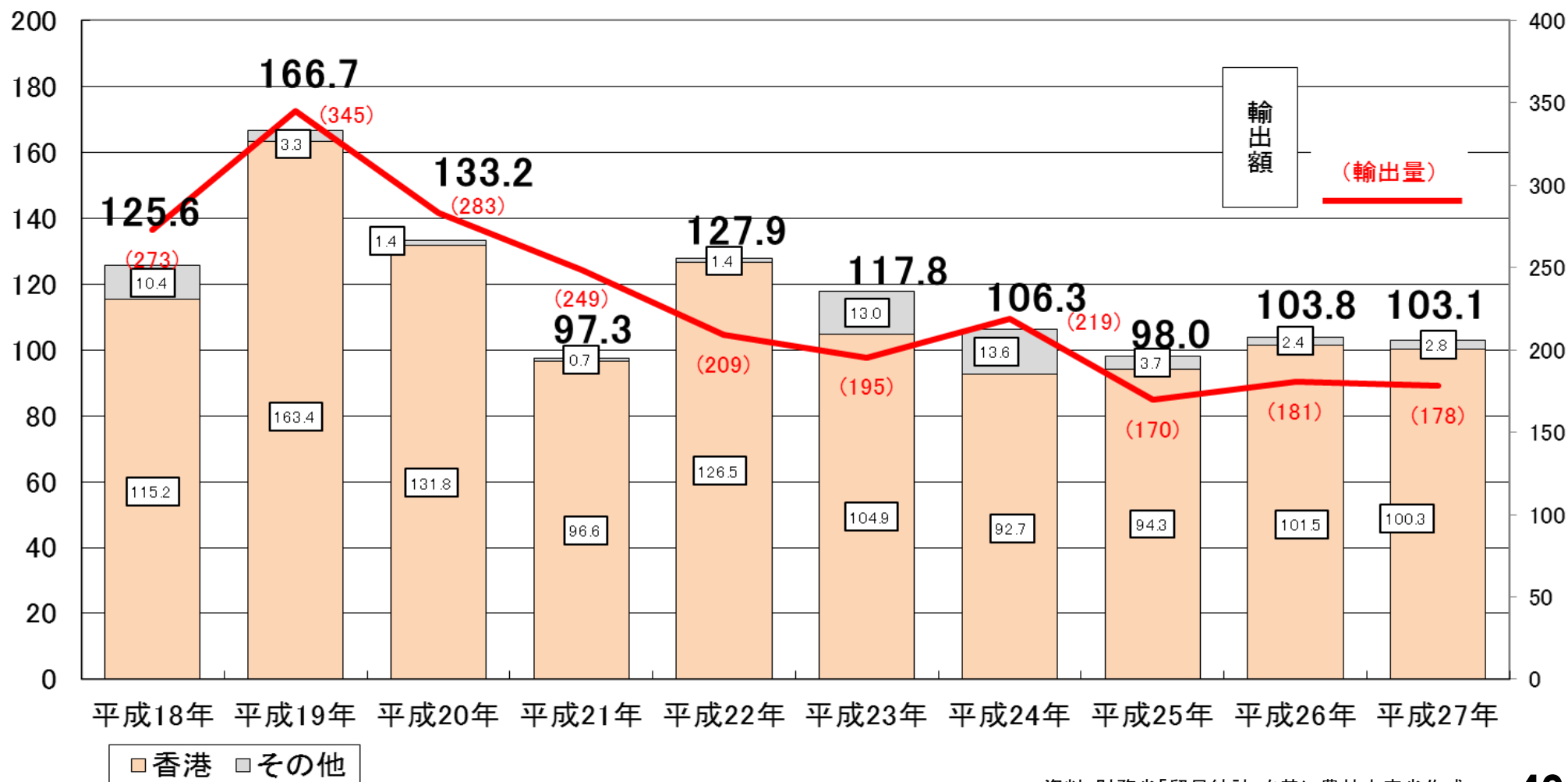
乾燥なまこ(調製)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 乾燥なまこは、「黒いダイヤ」と称され、高級食材として人気。
- ほとんどが香港に輸出されているが、近年は減少傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



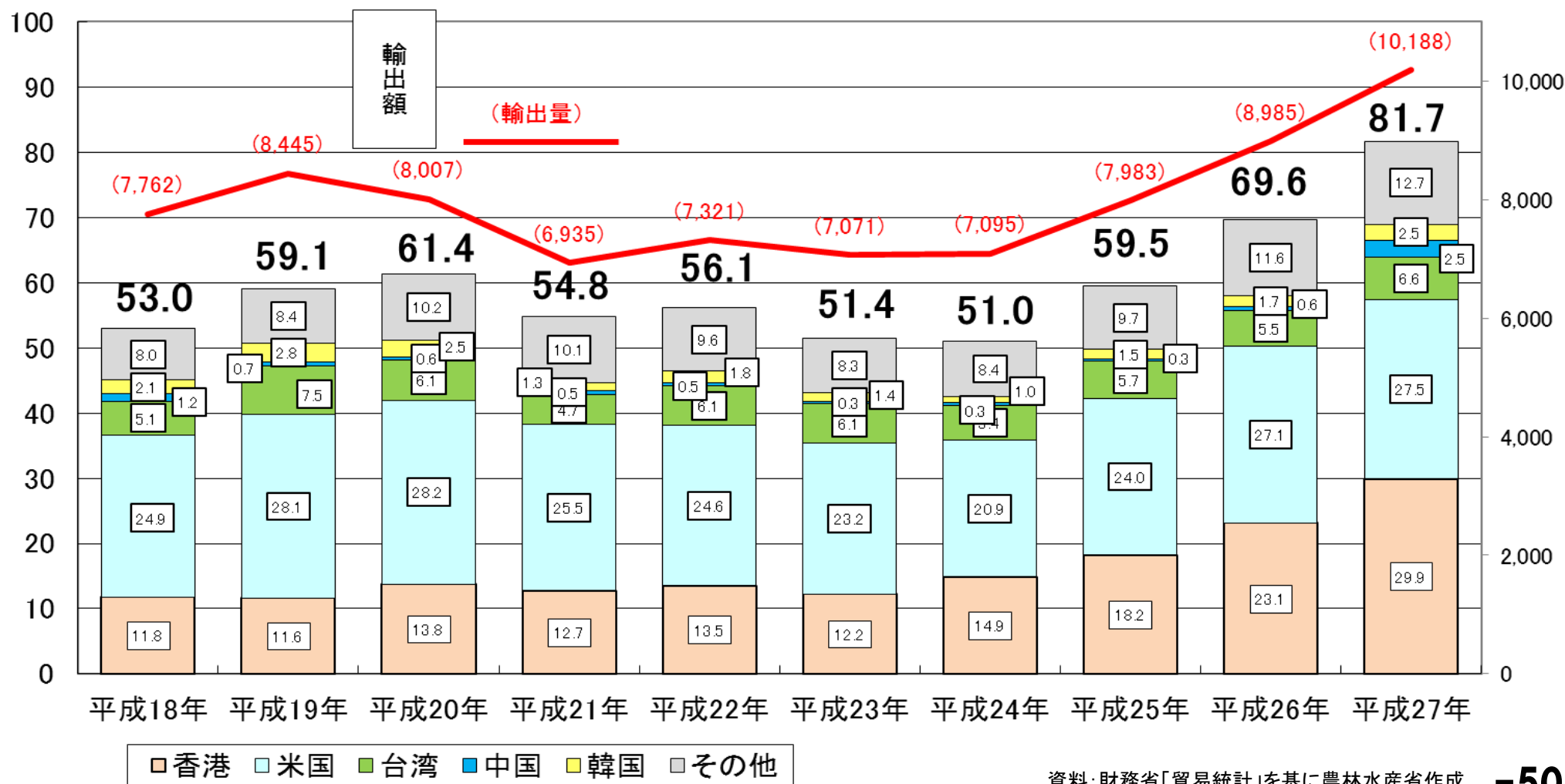
練り製品(魚肉ソーセージ等)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 香港、米国、台湾向けが全体の約8割を占めており、近年は増加傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



あわび(調製)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 高級中華料理の食材として人気のあわび(調製)は、ほとんどが香港に輸出されている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)

